図　面　リ　ス　ト

建築図			構造図			機械設備図			電気設備図		
図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺	図面番号	図面名称	縮　尺
１０１	特記仕様書	―――	２０１	校舎棟　耐震補強特記仕様書	―――	３０１	機械設備特記仕様書	―――	４０１	電気設備特記仕様書	―――
１０２	配置図 兼 仮設計画図（参考）	1/300 1/500	２０２	校舎棟　伏図・軸組図	1/200	３０２	校舎棟　空調設備平面図	1/200	４０２	校舎棟　各階　電灯・コンセント設備図	―――
１０３	仕上表	―――	２０３	校舎棟　耐震補強詳細図１	1/200	３０３	校舎棟・屋内運動場　衛生設備平面図	1/50 1/200	４０３	校舎棟　各階　弱電設備図	1/200
１０４	校舎棟　１階平面図（改修前・後）	1/200	２０４	校舎棟　耐震補強詳細図２	1/200	３０４	校舎棟　空調設備　既設撤去平面図	1/200	４０４	屋内運動場　電灯設備図	1/200
１０５	校舎棟　２階平面図（改修前・後）	1/200	２０５	校舎棟　耐震補強部材リスト１	1/200						
１０６	校舎棟　３階平面図（改修前・後）	1/200	２０６	校舎棟　耐震補強部材リスト２	1/200						
１０７	校舎棟　南側立面図（改修前・後）	1/200	２０７	屋内運動場　鉄骨構造特記仕様書	―――						
１０８	校舎棟　断面詳細図（改修前・後）	1/50	２０８	屋内運動場　伏図	1/200						
１０９	校舎棟　平面詳細図（改修前）	1/50	２０９	屋内運動場　軸組図	1/200						
１１０	校舎棟　平面詳細図（改修後）	1/50	２１０	屋内運動場　補強詳細図１ （１通り/Ａ通－Ｂ通間　HV2b,HV2b'）	1/20 1/30						
１１１	校舎棟　立面詳細図（改修前）	1/50	２１１	屋内運動場　補強詳細図２ （８通り/Ａ通－Ｂ通間　HV3b,HV3d）	1/100						
１１２	校舎棟　立面詳細図（改修後）	1/50	２１２	屋内運動場　補強詳細図３ （９通り/Ａ通－Ｂ通間　HV2b'）	1/20 1/30						
１１３	屋内運動場　平面図（改修前・後）	1/200	２１３	屋内運動場　補強詳細図４ （Ａ通り/７通－８通間　HV2b,HV2c）	1/30						
１１４	屋内運動場　立面図（改修前・後）	1/200	２１４	屋内運動場　補強詳細図５ （Ａ通り+10,000/８通－９通間　HV1a）	1/30						
１１５	屋内運動場　断面詳細図１（改修前・後）	1/50	２１５	屋内運動場　補強詳細図６ （屋根ブレース）	1/30						
１１６	屋内運動場　断面詳細図２（改修前・後）	1/50									
１１７	屋内運動場　天井伏図（改修前・後）	1/50									
１１８	屋内運動場　屋内運動場 便所・部屋廻り平面詳細図（改修前・後）	1/50									

大中小学校　耐震補強改修工事

株式会社　一級建築士事務所
DESIGN BOX
architecture & urban design

１．総　則

（１）共通仕様書

本工事の仕様は，特記仕様書に記載してある事項の他は全て，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書及び，公共建築改修工事標準仕様書（最新版）よる。（以下，共通仕様書という。）

電気設備又は機械設備工事を含む場合，電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。

（２）質疑

設計図書の内容に相違ある場合は現場説明事項，特記仕様書，標準仕様書，設計図書の順で解釈し，構造図は断面リストを優先する。その他の場合は監理技師又はその代理人（以下，係員という。）の指示による。

（３）提出書類

Ａ．契約後１０日以内

イ．工事請負契約書の写し　１部
ロ．工事着工届，主任技術者届，現場代理人届　２部
ハ．工事費内訳明細書，工程表，仮設計画書　２部
ニ．下請人名簿　（決定次第提出）　２部

Ｂ．工事期間中

イ．工事日報　（毎月まとめ）　１部
ロ．月間工程表，週間工程表　２部
ハ．各試験結果報告書　２部
ニ．工事写真　（サービス版）　２部
・工事着手前の敷地，既設及び隣接建物・工作物の状況，工事進捗状況（随時）
ホ．工事進捗状況報告書，~~中間出来高報告書~~　２部
ヘ．工事打合記録　（議事録）　２部

Ｃ．工事完成時

イ．竣工写真　（指定アルバムに整理）　２部　（１０カット）
ロ．竣工届　２部
ハ．使用機器の取扱説明書・保証書　２部
ニ．連絡先のリスト　２部
ホ．竣工図　（Ａ２版・施工図製本）　１部
ヘ．工事書類　（ＣＤ－ＲＷに焼付）　１式
・上記書類を含む，工事に際し提出した書類等を収録する事。（形式；ＤＯＣ・ＸＬＳ・ＪＴＤ）
ト．施工図　（ＣＤ－ＲＷに焼付）　１式
・工事に際し承認した図面を収録する事。（形式；ＪＷＣ・ＪＷＷ・ＤＸＦ）

（４）その他

~~・総工式~~

（５）材料試験

材　料　名	使用部分	試験事項	備　　考
コンクリート	構造体	圧　　縮	コンクリート打設毎１２本
同　上	同上	スランプ	作　業　中　随　時
鉄　　筋	同上	引　　張	各　径　毎　３　本

コンクリートの４週圧縮強度試験及び鉄筋の引張試験は，公共機関試験場で行う事。

（６）設計変更

標準仕様書１～５の設計変更で，承認を受けずに施工した部分の工事費増額分は施工者の負担とする。

（７）その他

設計者・監理者は，関係者相互間の意志不疎通により生じた問題では，その金銭的な責任を問われない。

２．仮設工事

~~（１）敷地測量　その他~~

工事に先立ち，平板測量は，必要・不要とする。

工事によって影響あると思われる隣地・隣接建物の現況を調査，確認して報告書を係員に提出する。

（２）仮囲い

仮囲いは、適宜設ける。仮囲いフェンス（Ｈ＝１．８ｍ）・伸縮ゲート等

（３）仮設建物

作業に必要な仮設建物等の設置は係員と協議の上，設置する。

（４）工事用水

敷地内既存の施設が，~~利用できる（有償・無償）~~・利用できない。

（５）工事用電力

敷地内既存の施設が，~~利用できる（有償・無償）~~・利用できない。

３．土工事

（１）根切り

所定の根切り深さで，所要な支持力が得られない場合は，余掘りとする。

余掘りが軽微な場合は，請負額は増額しない。

~~（２）平板載荷試験~~

係員の指示する位置［　］ヶ所で試験をする。　設計地耐力［　　］ｔ／㎡。

~~（３）ボーリング調査~~

（４）残土処分

残土処分は，~~場内または敷地均し処分~~・場外（自由・~~指定~~）処分とする。

（５）埋戻し・盛土

埋戻し・盛土は係員の承諾する土砂を用いる。尚，残土利用は，係員の承認を受けた場合のみ，可とする。

４．地業工事

（１）材料

（２）試験杭

全杭搬入に先立ち，係員立会いの上，試験打（各種３本ずつ）を行う。

尚，試験杭は本工事杭に，使用できる・使用できない。

（３）施工記録

杭は１本毎に，杭耐力測定を行い，記録を係員に提出する。　設計杭耐力　※構造図参照

（４）杭打設備

（５）地盤改良・その他

５．コンクリート工事

（１）コンクリート

コンクリートはレディミクストコンクリートⅠ類を使用する。

但し，無筋コンクリート部分又は係員の承諾を得た部分は，現場練りとする事ができる。

（２）調合

無筋コンクリート（捨てコンクリート共）は設計基準４週圧縮強度１６Ｎ／㎟，土間コンクリートは設計基準４週圧縮強度２１Ｎ／㎟，鉄筋コンクリートは設計基準４週圧縮強度２１及び３０Ｎ／㎟（構造図による），スランプ１８ｃｍ，水セメント比６０％以下とし，コンクリート打込から４週間後までの期間の予想平均気温１８℃以下の場合は標準仕様書により，強度補正を行う。尚，調合は調合表を係員に提出し，承認を受ける。

（３）打込等

コンクリート打込に先立ち，型枠を清掃・水打し，鉄筋位置を点検した後，豆板等不良箇所のないよう，十分注意して打込む。原則として各階毎に一度打ちとし，やむを得ない場合は係員の承認を受け，作業区画を定めて，完了するまで連続打ちとする。

６．鉄筋工事

（１）材料

使用鉄筋は，異径鉄筋ＪＩＳ　Ｇ３１１２・ＳＤ２９５Ａ（Ｄ１６以下）又はＳＤ３４５（Ｄ１９以上）規格品，普通鉄筋ＪＩＳ　Ｇ３１１２・ＳＲ２３５規格品とする。

（２）加工

配筋基準図・標準仕様書により加工する。工事に先立ち，加工図を作成して係員の承認を受ける。

（３）組立

位置を正確に配置し，移動せぬように鉄線にて結束する。

開口部・ダクト・配管等の関連工事の箇所は全て補強筋を入れ，係員の検査・承認を受ける。

７．鉄骨工事

（１）鋼材

構造図による

（２）ボルト

構造図による

（３）鉄骨の製作所

製作所は建設省告示第１１０３号に基づき，特定行政庁が認定した加工業者又は係員が承認する加工業者とする。

・鉄骨加工場　［Ｍ］グレード以上とする。
・溶接完了後の検査は，超音波探傷試験を行う ~~行わない~~

（４）鉄骨の現場溶接

現場溶接においては　溶接の有資格者による施工とすること。

８．組積工事

（１）コンクリートブロック

ブロックはＪＩＳ　Ａ５４０６　Ｃ種の規定に合格したものとする。

~~（２）ＡＬＣパネル（ｔ＝１００）~~　　シーリング　　ａ．ウレタン系

９．防水工事

~~（１）種別~~

防水は下記の仕様，又は同等品で係員が承認したものとし，メーカー責任施工とする。

施　工　箇　所	種　　別

~~（２）モルタル防水~~

係員の承認する防水剤とし，メーカー責任施工とする。

~~（３）保証書~~

防水施工者は，請負業者と連名で保証書を提出する。

保証書の保証期間は，上記仕様においては，［１０］年とする。

（４）シーリング工事

図面に明記無くとも，外部建具と壁との取合部，コンクリート打継目地等，必要と思われる部分にはシーリングを施す。　ａ．ウレタン系　（　　）　ｃ．シリコーン系　（　　）
ｂ．ポリサルファイド系（　　）　ⓓ 変成シリコーン系　（アルミサッシ廻り）
（屋根棟包）
（屋根水切取合）

~~（５）漏水試験~~

防水施工後，早急に漏水試験を行う。

防水層立上りまで水張り後　２４時間以上経過した時点で係員の立会い検査を受ける事。

１０．石・タイル工事

~~（１）石材~~

大理石・御影石等の仕様等は，下記の表と図面による。

施　工　箇　所	種　類　・　品　名	仕　上　の　種　類

（２）タイル材料

タイルの種類等は，下記の表と図面によるもの，又は同等品で係員の承認したものとする。

施　工　箇　所	種　類　・　品　名	製　作　所
屋体　男女　便所　床	50角モザイクタイル	県内産
屋体　男女　便所　壁	200ｘ100　タイル	県内産
校舎　玄関　　床	100ｘ100　タイル	県内産
校舎　出入口　階段　床	段鼻タイル　100ｘ100　タレ付	県内産

~~（３）積料路・段鼻部分~~

図面に明記無くとも，傾斜路・段鼻部分のタイルは，平部分のタイルと色を変えて貼り分ける。

（４）役物

図面に明記無くとも，係員が必要と認めた箇所には，役物を使用する。

（５）目地材

内装壁部の目地材は，イナカラーメジ　スーパークリーン，又は同等品で係員の承認を得たものとする。

特記なき目地材については，係員の承認を得たものを使用する。

~~（６）伸縮調整目地~~

図面に明記無くとも，係員が必要と認めた箇所には，伸縮調整シーリングを施す。

（７）石・タイルの割付図を提出し，係員の承認を受けること。

１１．木工事

（１）材料・工法

図面に明記なき材料は下記の表により，工法は標準仕様書による。

施工箇所	樹　種	塗　装	施工箇所	樹　種	塗　装
敷　　居			入　口　枠　ａ		
付　柱・付　梁			入　口　枠　ｂ	マンガシロ	ＯＰ
鴨　居・長　押			見　　切		
巾木　体育館以外	マンガシロ	ＯＰ	面台（補強部）	タモ積層材	ＯＳ
巾木　体育館	桧	オスモ			
			額　　縁	マンガシロ	ＯＰ
体育室　　床	ｻｯｸﾗﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　t=18（特殊貼）		合　　板	ラワン耐水Ｉ類	
ステージ　床	ﾌﾞﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　t=18		ａ．塗装にて木地が見える場合		
ｷﾞｬﾗﾘｰ　床	ｶﾊﾞﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　t=12（直貼り）UV塗装品		ｂ．塗装にて木地が見えない場合		
体育室　壁	桧板　t=15				

（２）水がかり部

水がかりのおそれがある場合は，上記の表に関係なく，桧材を使用する。

（３）木材防腐処理

コンクリート・コンクリートブロック等に接する部分，水がかりのおそれのある部分は，環境配慮型クレオソート油Ｒ：東邦理化(株)又は同等（２回塗）とする。　但し，仕上後に支障となる部分は除く。

（４）白木部分には，白木ワックスを施す。

１２．屋根工事

（１）屋根材の仕様等は，下記によるもの，又は同等品で係員の承認したものとする。

（２）保証書

屋根施工者は，請負業者と連名で保証書を提出する。

保証書の保証期間は，上記仕様においては，［１０］年とする。

１３．金属工事

（１）金物等の仕様等は，下記によるもの，又は同等品で係員の承認したものとする。

１４．左官工事

（１）モルタル塗

特記無き場合は，金ゴテ押エとする。

（２）ひび割れ防止

特記無くとも，床のモルタル仕上部分，下地が異なる部分等でひび割れのおそれのある部分は，必要に応じて目地又は見切線を設けるなど，係員の指示に従って適当な処理をする。

（３）建具枠廻

外部廻の建具枠廻は，防水モルタル　トロ積メを施し，周囲（巾≧３００）に塗布防水を施し，雨水の浸透を防ぐ。

１５．建具工事

（１）金属製建具　　下記の製作所のもの，又は同等品で係員の承認したものとする。

・
・　アルミサッシ　：　ＹＫＫap、不二サッシ、三協立山アルミ
・　スチールサッシ；

（２）木製建具

建具材料は米桧・スプルス等とし，フラッシュドアの合板は特記無き場合はシナ（耐水Ⅱ類）とする。

（３）建具金物は，建具表の特記仕様を参照とする。

１６．ガラス工事

（１）材料

ガラスは，セントラル硝子、日本板硝子、旭ガラスの製品，
又は同等品で係員の承認したものとし，仕様は図面による。

（２）シーリング　　ａ．シリコーン系（高モジュラス）
ｂ．シリコーン系（低モジュラス）

１７．塗装工事

（１）塗装回数は下記の表による。塗装の種別は下記の表によるもの，又は同等品で係員の承認したものとする。
メーカー等の表示無き場合の材料は一流メーカー品で，係員の承認したものとする。

略　号	種　　別	塗装回数	略　号	種　　別	塗装回数
ＯＰ	合成樹脂調合ペイント　JIS K5516	3	ＣＬ	着色クリアラッカー	3
ＡＥＰ	合成樹脂系ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ塗料　JIS K5663　１種	3	ＯＳＣＬ	オイルステインクリアラッカー	2
ＶＰ	溶剤型塩化ビニール樹脂系塗料 JIS K5581・JIS K5582・JIS K5583	3	ＯＳＵＣ	オイルステインウレタンクリア	3
ＥＰ	ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ	2			
ＵＰ	ウレタン塗装	2	錆止メＡ	シアナミド鉛錆止メ　JIS K5625	2
	エポキシ系錆止メ下地				

（２）吹付材・塗装材の材料は下記の仕様，又は同等品で係員の承認したものとする。

略号・施工箇所	種　　類	商品面・製作所
防水型複層塗材Ｅ	防水型弾性ウレタン仕上 凹凸模様程度（ローラー押え）	レナエクセレント ：エスケー化研
複層塗材ＲＥ	エポキシ系吹付タイル 凹凸模様程度（ローラー押え）	レナキャスト：エスケー化研

１８．内装工事

（１）特記事項

・　ボードのビス等はステンレス製とする。
・　長尺塩ビシートは熱溶接工法とする。
・　長尺塩ビシートの接着剤はエポキシ樹脂系とする。

（２）材料

各材料の種類・製作所は下記のもの，又は同等品で係員の承認したものとする。
各材料の工法は各製作所の指定するもので，係員の承認したものとする。

種　　類	商　品　名	製　作　所
ＶＬ１	ロンリウム　マーブル　t=2.0	ロンシール工業(株)
飛散防止フィルム	SH2CLAR　透明飛散防止　t=0.076	住友３Ｍ㈱
	（透明飛散防止・ＵＶカット機能）	

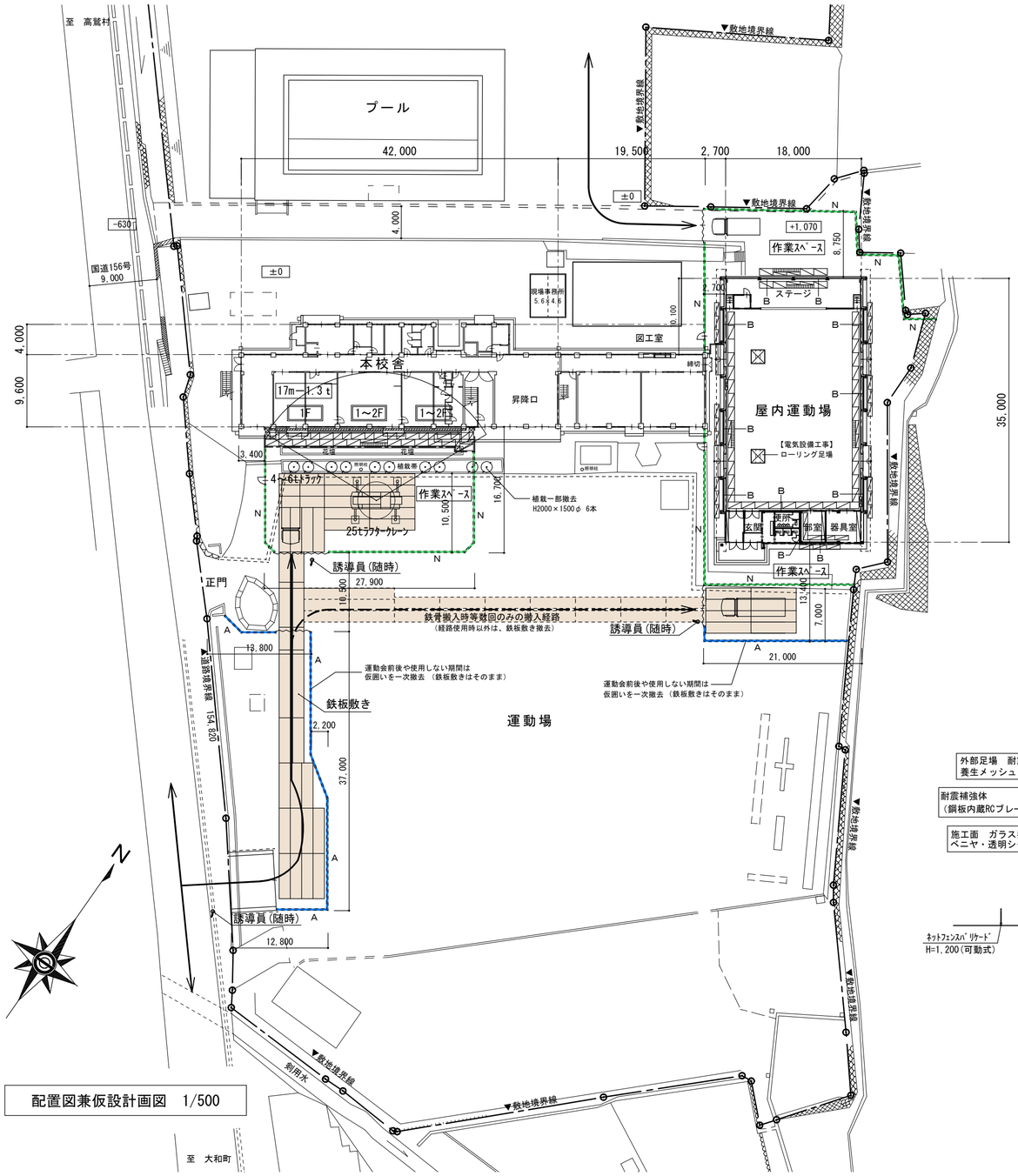
１９．雑工事

（１）各製品の仕様・製作所は下記のもの又は同等品で係員の承認したものとし，各工法は各製作所の指定するものとする。

・
・
・

２０．その他

（１）見積用・契約用・工事用の図面の複写代は請負業者の負担とする。
（２）請負業者は設計図一式をマイクロフィルムにし，原図１部を提出の事。
（３）請負業者は，青焼製本をＡ３版にて３部，Ａ４版にて３部を提出の事。
但し，設計原図・ＣＡＤデータの貸出は原則として行わない。
（４）各材料の色・耐付等の決定においては係員の承認を得る事。
（５）下請業者・各製品の製作所等の決定においては係員の承認を得る事。
（６）着工後，速やかに係員の指示により下記の看板を取付ける事。
ａ．設計事務所指定看板　（９００×９００）　１枚
（７）廃材処理
工事中に発生した廃材は全て，「建設リサイクル法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法規・条例等に基づいて元請業者の責任において適切に処理し，報告書を提出すること。



配置図兼仮設計画図　1/500

凡例

【電気設備工事部分】

ローリング足場を示す。　W1.5m×H8.8m 計2台

【建築工事部分】

1～3F　校舎棟　耐震補強部（鋼板内蔵RCﾌﾞﾚｰｽ）を示す。

B　屋内運動場　耐震補強部（鉄骨ﾌﾞﾚｰｽ）を示す。

外部足場を示す

工事用出入口を示す

工事区画を示す　仮囲：全鉄製フェンスバリケード H=1,800

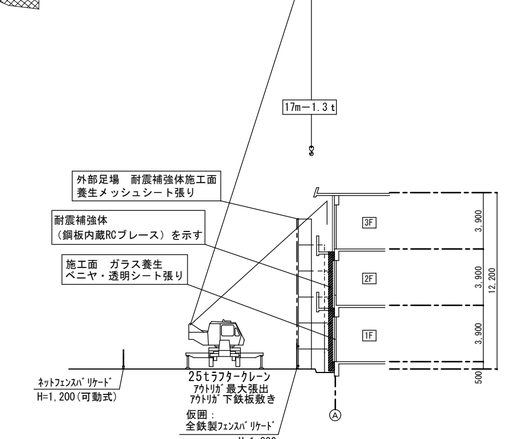
N　工事区画を示す　仮囲：ネットフェンスバリケード H=1,800 （可動式）

A　工事区画を示す　仮囲：単管Ａ型バリケード

主工事車両経路を示す

※工事車両と児童登校時動線の重なる箇所には、随時誘導員を配置する。

※工事に支障のある犬走り・花壇・樹木等は、一部撤去、工事終了後 復旧とする。



Ａ－Ａ断面図　S=1/300

工　事　区　分　表

発注別による各工事は、着工に先立ち、構造・仕上・工程等を十分に検討調整した後に、
それぞれの工事内容を把握し下記に○印を付したものを適用して施工する。

番号	項　　目	建築（本工事）	機械（本工事）	電気（本工事）	校舎棟ＡＣ扇風機設置（別途工事）
1	仮設工事	○		○ 専用一部のみ	○ 専用一部のみ
2	耐震補強工事	○			
	上記に伴う機械設備工事		○		
	上記に伴う電気設備工事			○	
3	衛生設備工事による外壁等貫通箇所の処理		○	○	
4	衛生設備機器取付箇所の躯体穴明、金物等の固定		○	○	
5	屋内及び屋外給排水管の撤去処分		○		
6	建築工事による軒天下地、壁、天井の穴明	○			
7	設備工事による軒天下地、壁、天井の穴明		○	○	
8	上記に伴う補強工事	○			
9	既設固定家具備品類の移設、撤去	○			
10	土間配管に伴う土間スラブの撤去復旧	○			
11	土間配管に伴う採掘・埋戻		○		
12	ＦＦ暖房用油配管の撤去、新設		○		
13	同上制御関係配管の撤去、新設		○		
14	防火区画貫通箇所の防火処理	○	○	○	○
15	ＡＣ設置工事による外壁等貫通箇所の処理				○
16	ＡＣ機器取付箇所の躯体穴明、金物等の固定				○
17	ＡＣ設置工事による軒天下地、壁、天井の穴明				○
18	上記に伴う補強工事				○
19	天井点検口				○
20	扇風機取付及び配線工事、伴う補強工事				○
21	扇風機取付台				○

◆ 工事施工条件

校舎棟 耐震補強工事
- ・夏休み期間中に、解体・アンカー打ち等の工事を完了させる。
- ・夏休み明けの工事は、土曜日、日曜日、祝日で工事を行う。

屋内運動場 耐震補強工事
- ・１０月上旬には工事を完了し、一部使用承認にて使用開始できるようにする。
- ・工事期間中は全日使用制限の為、生徒の登下校や授業に配慮しつつ平日工事も行うことができる。
- ・

仮設工事関係
- ・屋内運動場搬入用の運動場横断通路は、夏休みや休日以外は原則使用しない。
- ・運動会前後や使用しない期間は、運動場を広く使えるよう配慮をする。
- ・現場事務所・工事車両駐車場の位置は、着工時に協議打合せを行い決定する。
- ・作業員の駐車場は、敷地外にて確保する。

その他
- ・ＦＦ暖房機用の油配管は、１０月末日までに復旧を行う。
- ・照明器具設置、扇風機設置、エアコン設置、これらの工事は、夏休み期間中に工事を行う。

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	配置図兼仮設計画図（参考）	1/300 1/500 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1	02

工　事　名　称	大中小学校 耐震補強改修工事	構　　造	校舎棟：鉄筋コンクリート造　３階建　　屋内運動場：鉄骨造　平屋		
建　築　場　所	岐阜県郡上市白鳥町中津屋360番地3地内	面　　積	校舎棟：1,834.96㎡　　屋内運動場：630.00㎡		

外　部　仕　上　表

		床　（土間）	巾木	外壁	屋根	庇	軒	建具	樋	備考
校舎棟	補強前	玄関：100角フロアタイル　一部撤去 昇降口：100角フロアタイル　一部撤去 犬走り：Ｍコテ　一部撤去	モルタル刷毛引き 一部撤去	一般壁及び柱型： モルタル刷毛引き　ＲＥ吹付 バルコニー外部： 合板型枠打放し　ＲＥ吹付	屋根：三晃式Ｒ−Ｔ工法 バルコニー： ウレタン塗膜防水、Ｍコテ押え目地切　一部撤去	最上階庇：フッ素樹脂鋼板t=0.8 庇裏：合板型枠打放し　ＡＲ吹付 バルコニー笠木：防水Ｍコテ　一部撤去	軒裏：合板型枠打放し　ＡＲ吹付　一部撤去 昇降口軒天：アルミスパンドレル　ＳＯＰ　一部撤去	窓　　アルミサッシ	竪樋　白ガス管　φ100　OP ﾂｶﾐ金物　亜鉛ﾒｯｷ品　OP @1100以内 ルーフドレイン　鋳鉄製　φ100 中間ドレイン　鋳鉄製　φ100　┐一部撤去	
	補強後	玄関：100角フロアタイル　一部新設 昇降口：100角フロアタイル　一部新設 犬走り：Ｍコテ　一部新設	モルタル刷毛引き 一部新設	一般壁及び柱型： モルタル刷毛引き　ＲＥ吹付　一部復旧 バルコニー外部： 合板型枠打放し　ＲＥ吹付　一部復旧 新設ブレース部：防水型複層塗材Ｅ　新設	屋根：三晃式Ｒ−Ｔ工法　既設のまま バルコニー： ウレタン塗膜防水、Ｍコテ押え目地切　一部新設	最上階庇：フッ素樹脂鋼板t=0.8　既設のまま 庇裏：合板型枠打放し　ＡＲ吹付　既設のまま バルコニー笠木：防水Ｍコテ　一部新設	軒裏：合板型枠打放し　ＡＲ吹付　一部新設 昇降口軒天：アルミスパンドレル　ＳＯＰ　一部新設	窓　　アルミサッシ　既設のまま	竪樋　白ガス管　φ100　OP ﾂｶﾐ金物　亜鉛ﾒｯｷ品　OP @1100以内 ルーフドレイン　鋳鉄製　φ100 中間ドレイン　鋳鉄製　φ100　┐一部新設	
屋内運動場	補強前	Ｍコテ 一部撤去	Ｍコテ 一部撤去	ＡＬＣ　t=100　吹付タイル 一部焼付鉄板　t=0.6　┐一部撤去	カラー鉄板　折板葺き アスファルトフェルト　20ｋｇ 木毛セメント板 t=20（ジョイナー付）	防火パネル−Ｒ （裏板材： ロックウールボード　t=20）	大平板 t=6 吹付タイル [アスベスト含有材] 一部撤去	窓　　アルミサッシ　一部撤去 出入口　スチール戸+OP	軒樋　鉄板 t=0.6　曲げ加工 OP 竪樋　白ガス管　φ100　OP ﾂｶﾐ金物　亜鉛ﾒｯｷ品　OP @1100以内　┐一部撤去	
	補強後	Ｍコテ 一部新設	Ｍコテ 一部新設	ＡＬＣ t=100　吹付タイル 一部焼付鉄板　t=0.6　┐一部新設	既設のまま	既設のまま	ＡＢ t=6 吹付タイル 一部新設	窓　　アルミサッシ　一部新設 出入口　スチール戸+OP　既設のまま	軒樋　鉄板 t=0.6　曲げ加工 OP　既設のまま 竪樋　白ガス管　φ100　OP ﾂｶﾐ金物　亜鉛ﾒｯｷ品　OP @1100以内　┐一部新設	

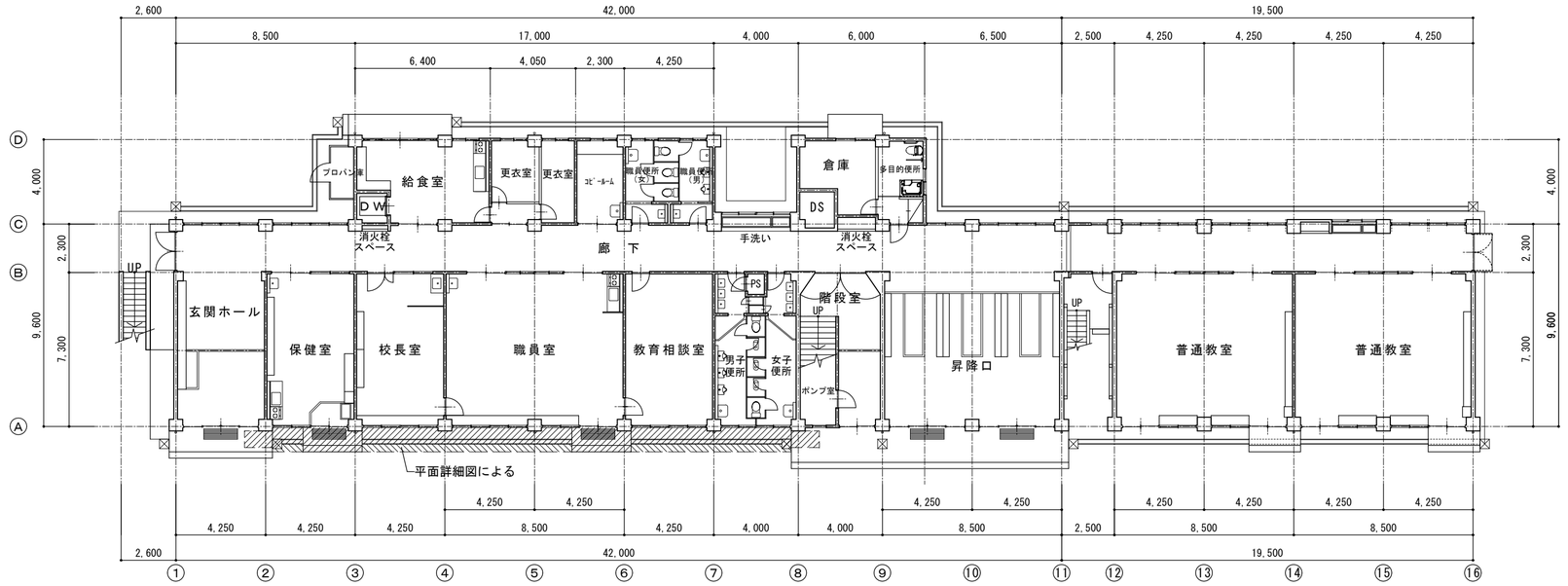
内　部　仕　上　表

		床	巾木		腰壁	上部壁(ギャラリー階)	天井	備考	
体育室	補強前	Ｆ1+Ｙ（鋼製床組） 一部撤去（仕上・床組共）	木製　オスモ 一部撤去	H=100	桧板　t=15　オスモ 一部撤去	桧板　t=15　オスモ　一部撤去 南北面　上部 木毛セメント板　t=20　ＥＰ吹付け　┐一部撤去 リブ　50ｘ60　ＯＰ　@150	木毛セメント板 t=20　表わし	肋木取外し	体育室
	補強後	既設部　既設のまま 一部新設（仕上・床組共） Ｆ1+Ｙ（鋼製床組）	既設部　既設のまま 一部新設 木製　オスモ	H=100	既設部　既設のまま 一部新設 桧板　t=15　オスモ	既設部　既設のまま 桧板　t=15　オスモ　一部新設 南北面　上部 木毛セメント板　t=20　ＥＰ吹付け　┐一部新設 リブ　50ｘ60　ＯＰ　@150	既設のまま ブレース新設部　鉄骨塗装補修　ＯＰ	肋木再取付	
ステージ	補強前	Ｆ2+Ｙ（木床組） 一部撤去（仕上・床組共）	木製　オスモ 一部撤去	H=100	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＳ 一部撤去	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＳ 一部撤去	木毛セメント板 t=20　表わし	―――	ステージ
	補強後	既設部　既設のまま 一部新設（仕上・床組共） Ｆ1+Ｙ（鋼製床組）	既設部　既設のまま 一部新設 木製　オスモ	H=100	一部新設 Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＳ　（ＬＧＳ100下地共）	一部新設 Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＳ　（ＬＧＳ100下地共）	既設のまま	―――	
ギャラリー	補強前	Ｆ3+Ｙ　一部撤去	木製　ＯＰ	H=100	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ	木毛セメント板 t=20　表わし	―――	ギャラリー
	補強後	一部新設　Ｆ4+ＷＸ	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	ブレース新設部　鉄骨塗装補修　ＯＰ	
器具庫	補強前	ＶＬ　ＷＸ　一部撤去	木製　ＯＰ 一部撤去	H=100	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ 一部撤去	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ 一部撤去	木毛セメント板 t=20　表わし	―――	器具庫
	補強後	一部新設　ＶＬ　ＷＸ	一部新設 木製　ＯＰ	H=100	一部新設 Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ	一部新設 Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ	既設のまま	―――	
男女便所 洗面所	補強前	ＭＴ　一部撤去	100角タイル貼 一部撤去	――	200x100 タイル貼 一部撤去	桧板　t=15　オスモ 一部撤去	軽量石綿板 t=6　ＡＥＰ　一部撤去	トイレブース　一部撤去	男女便所 洗面所
	補強後	一部新設　ＭＴ	一部新設 100角タイル貼	――	一部新設 200x100 タイル貼	一部新設 桧板　t=15　オスモ	既設部　既設のまま 一部新設　ケイカル板 t=6　┐全面ＡＥＰ再塗装	トイレブース　一部新設	
部室	補強前	ＶＬ　ＷＸ　一部撤去	木製　ＯＰ 一部撤去	H=100	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ 一部撤去	Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ 一部撤去	木毛セメント板 t=20　表わし	ロッカー　撤去	部室
	補強後	一部新設　ＶＬ　ＷＸ	一部新設 木製　ＯＰ	H=100	一部新設 Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ	一部新設 Ｒ　t=5.5　目透し貼　ＯＰ	既設のまま	ロッカー　新設	

注）一部新設　とあるは既設仕上同等とする.
注）既設取り合い部は特記なくとも現況復旧とする

－凡　例－

ＶＰ　溶済型　塩化ビニル樹脂系ペイント
ＥＰ　エマルションペイント
ＡＥＰ　合成樹脂系エマルションペイント
ＯＰ　合成樹脂調合ペイント
Ｙ　ユートン３回塗り
ＷＸ　ワックス
ＲＥ吹付　複層吹付材ＲＥ吹付
ＡＲ吹付　アクリル系リシン吹付
Ｍコテ　モルタル金コテ押え
ＭＴ　モザイクタイル
Ｒ　ラワン合板
ＡＢ　ケイ酸カルシウム板
ＰＢ　石膏ボード
ＶＬ　長尺塩ビシート
Ｆ1　サクラフローリング　t=18（特殊貼）
　　パーチクルボード　t=15　下地
Ｆ2　ブナフローリング t=18
　　パーチクルボード　t=15　下地
Ｆ3　アピトンフローリング t=12
Ｆ4　カバフローリング t=12（直貼り）

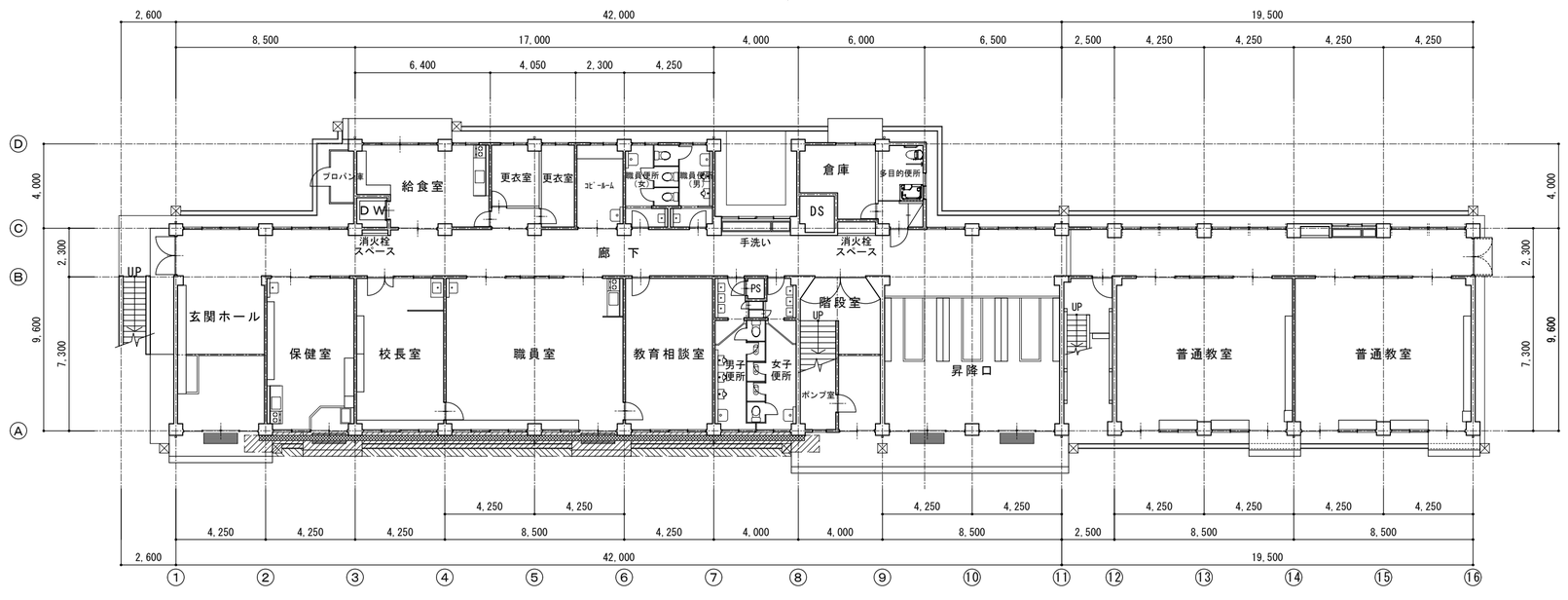


凡例

耐震補強に伴う撤去部分を示す

耐震補強に伴う掘削部分を示す

１階平面図（改修前）　1/200



凡例

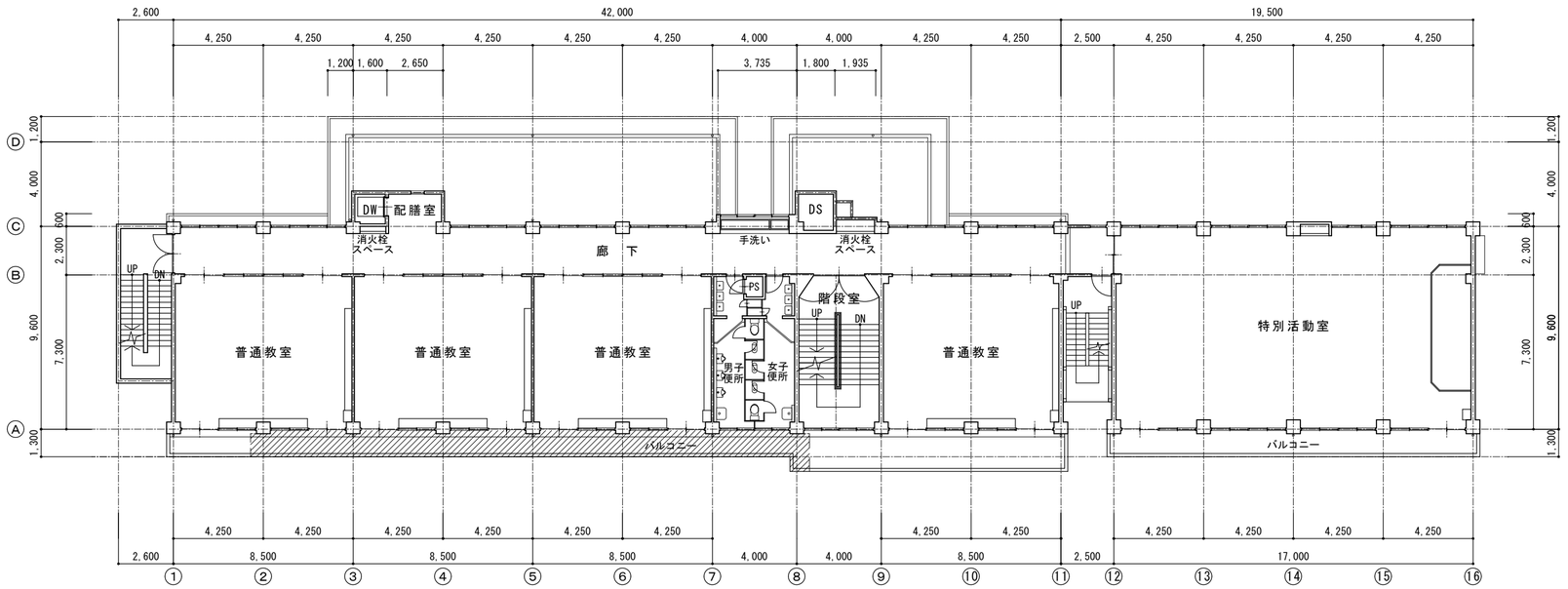
補強ブレース

耐震補強に伴う改修部分を示す

耐震補強に伴う埋戻し部分を示す

１階平面図（改修後）　1/200

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟　１階平面図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	104

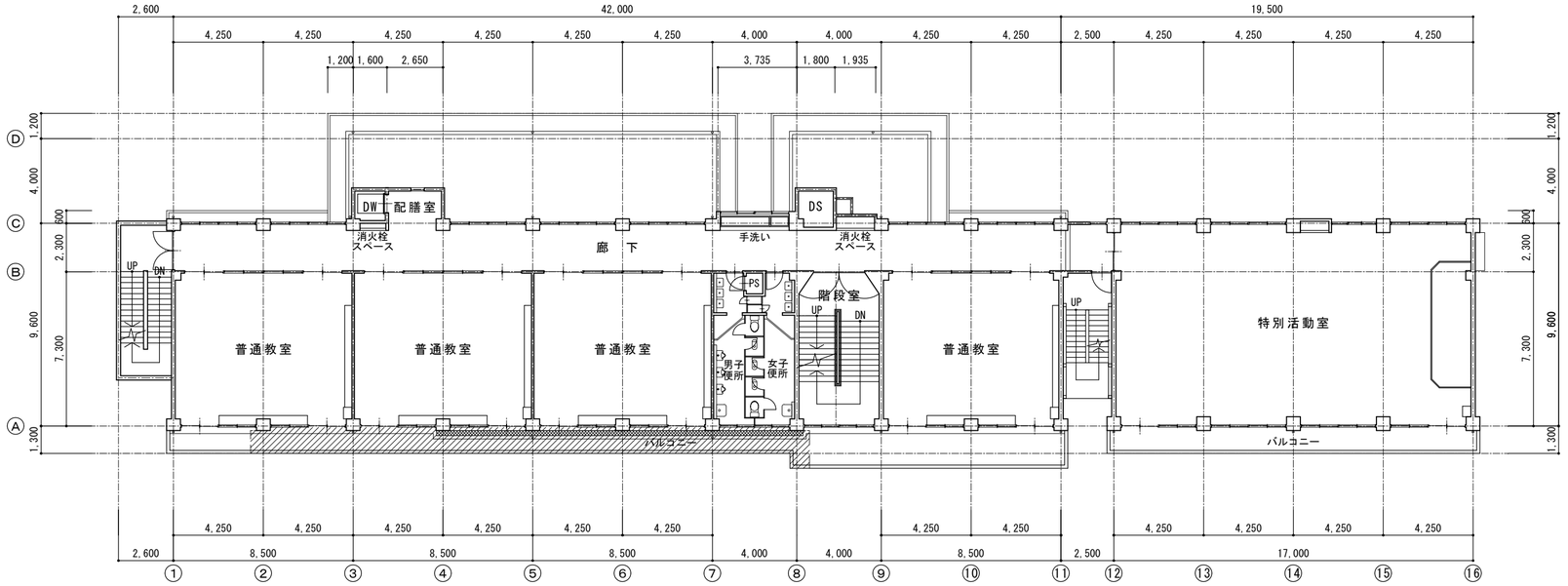


凡例

耐震補強に伴う撤去部分を示す

耐震補強に伴う掘削部分を示す

２階平面図（改修前）　1/200



凡例

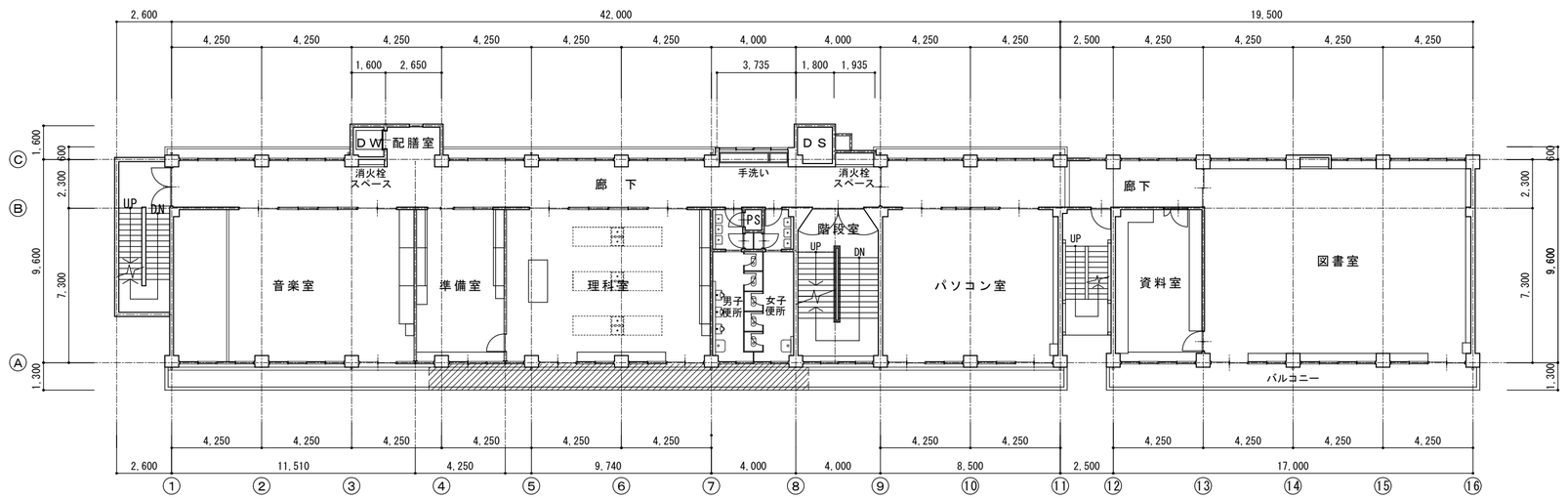
補強ブレース

耐震補強に伴う改修部分を示す

耐震補強に伴う埋戻し部分を示す

２階平面図（改修後）　1/200

1239	大中小学校　耐震補強改修工事	校舎棟　２階平面図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社　一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	105

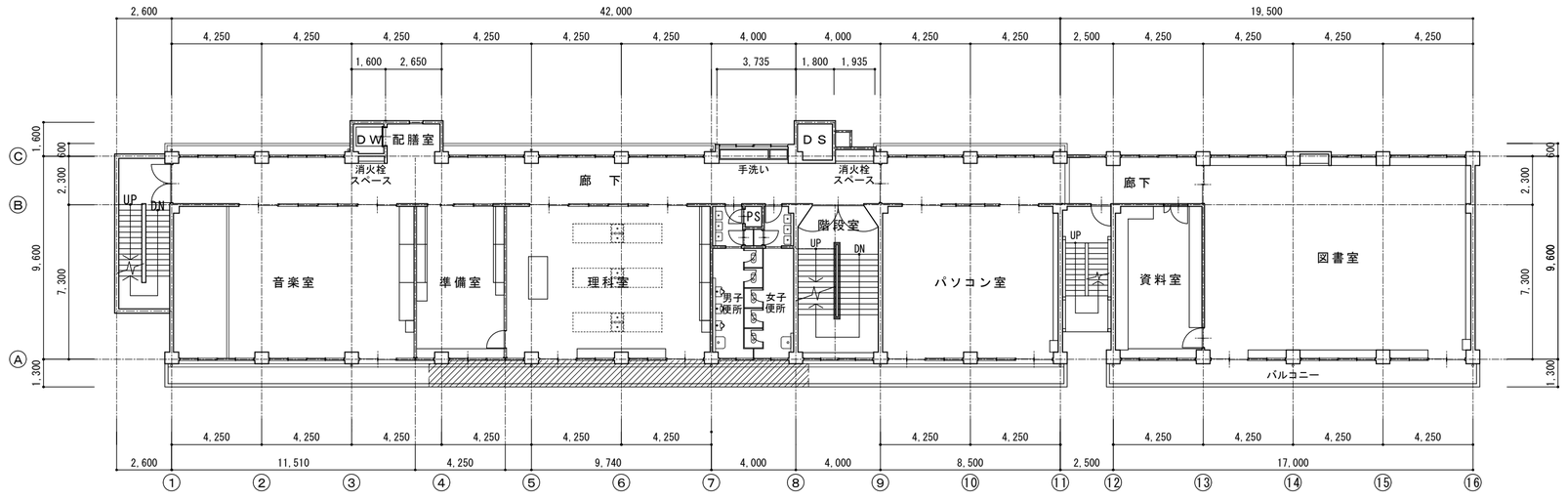


凡例

耐震補強に伴う撤去部分を示す

耐震補強に伴う掘削部分を示す

3階平面図（改修前） 1/200



凡例

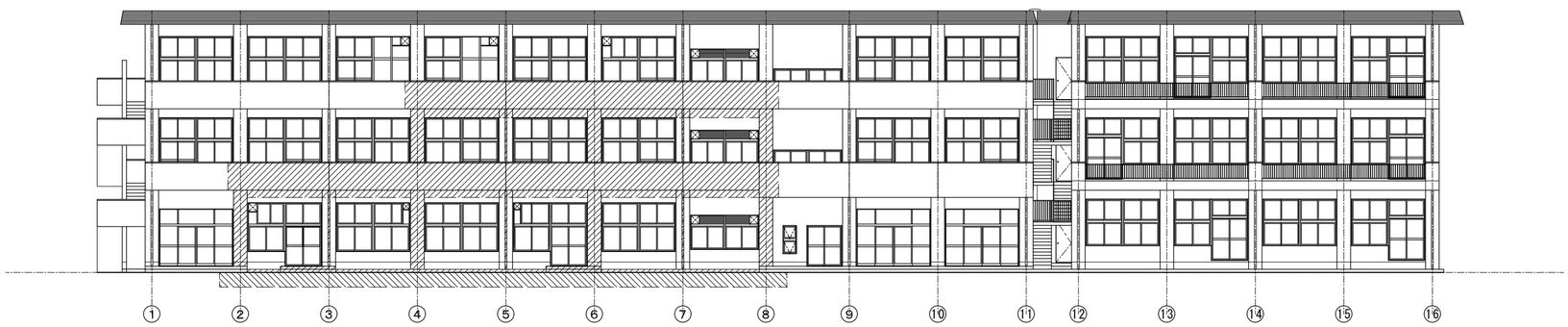
補強ブレース

耐震補強に伴う改修部分を示す

耐震補強に伴う埋戻し部分を示す

3階平面図（改修後） 1/200

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟 3階平面図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	106

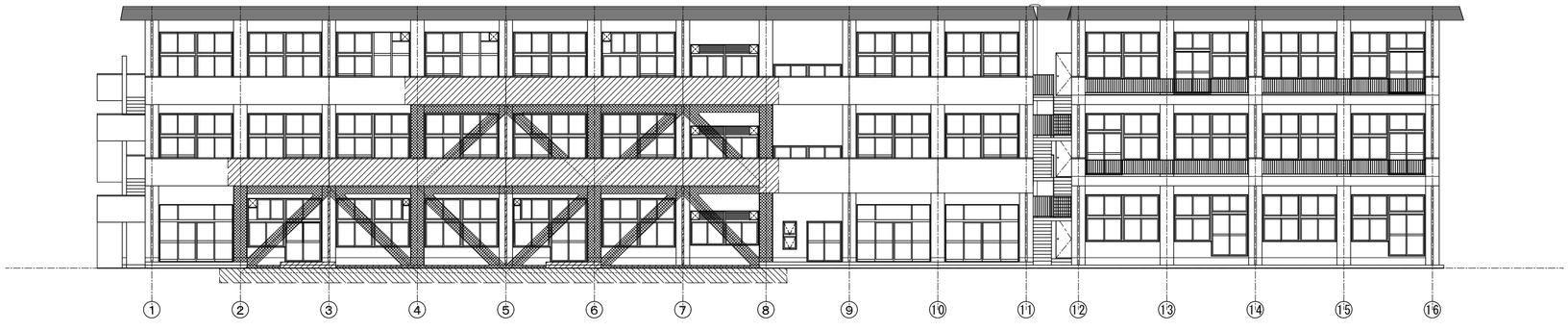


南側立面図（改修前）　1/200

凡例

耐震補強に伴う撤去部分を示す

耐震補強に伴う掘削部分を示す



南側立面図（改修後）　1/200

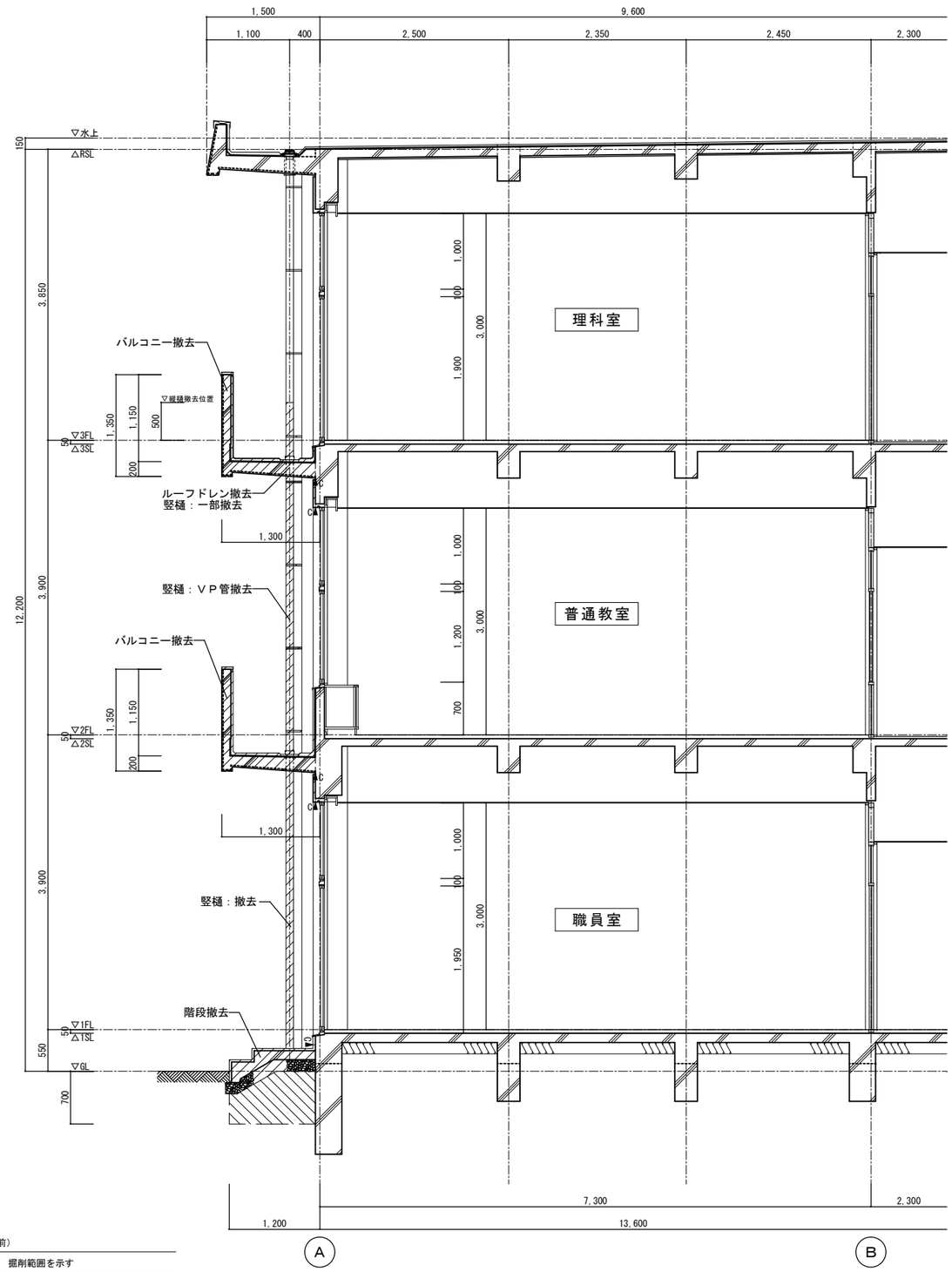
凡例

補強ブレース

耐震補強に伴う改修部分を示す

耐震補強に伴う埋戻し部分を示す

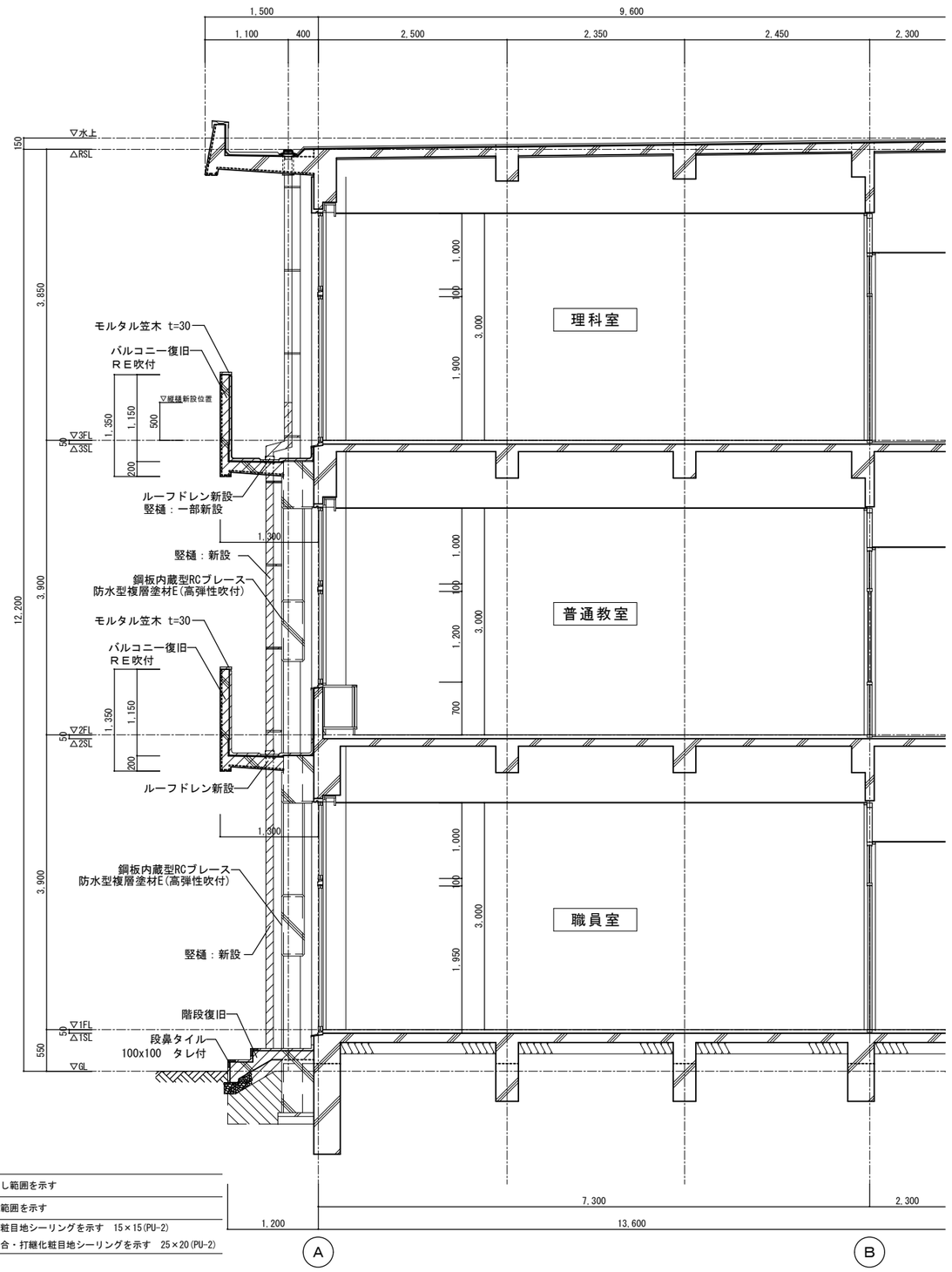
1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟　南側立面図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	107



凡例（改修前）

- 掘削範囲を示す
- 撤去範囲を示す
- ▲C　カッター入れ位置を示す

断面詳細図（改修前）　1/50



凡例（改修前）

- 埋戻し範囲を示す
- 復旧範囲を示す
- ▲S　・化粧目地シーリングを示す　15×15(PU-2)
  ・取合・打継化粧目地シーリングを示す　25×20(PU-2)

注記

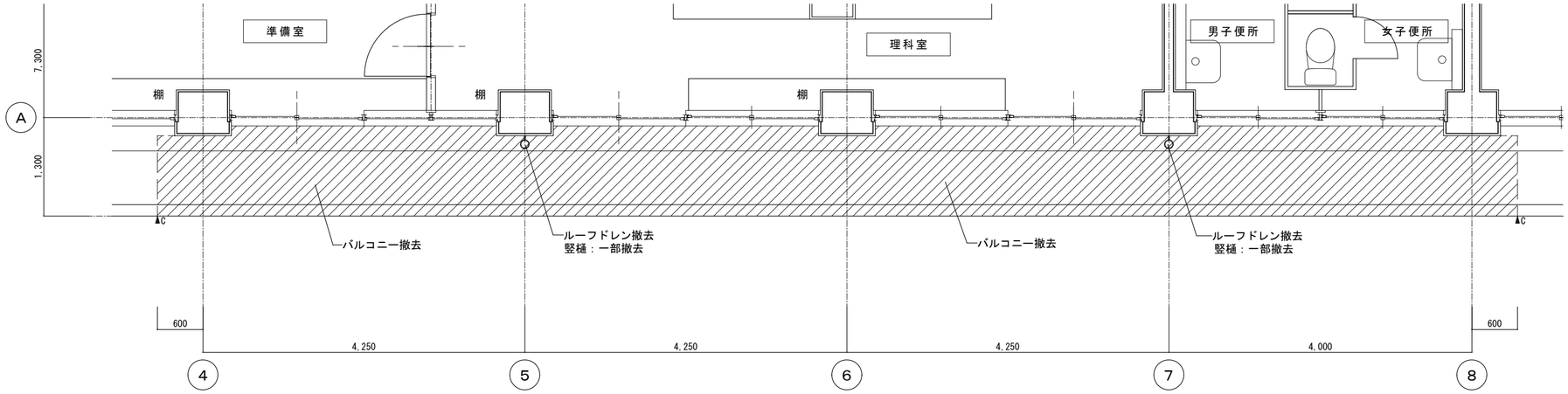
・補強梁天端は適切に水勾配を取ること
・補強体吹付仕上面は下地調整の上、防水形複層塗材E(高弾性吹付)とする
・新設竪樋は適切な位置に切り回しとする

断面詳細図（改修後）　1/50

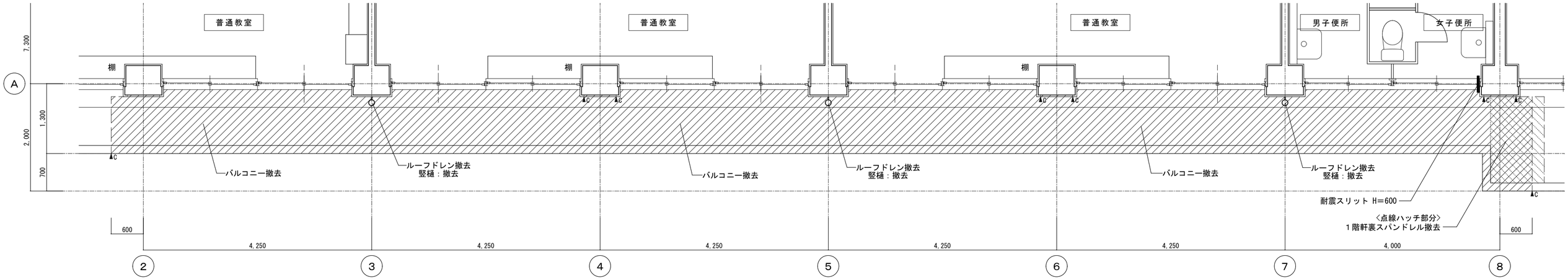
1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟　断面詳細図（改修前・後）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	108

凡例（改修前）

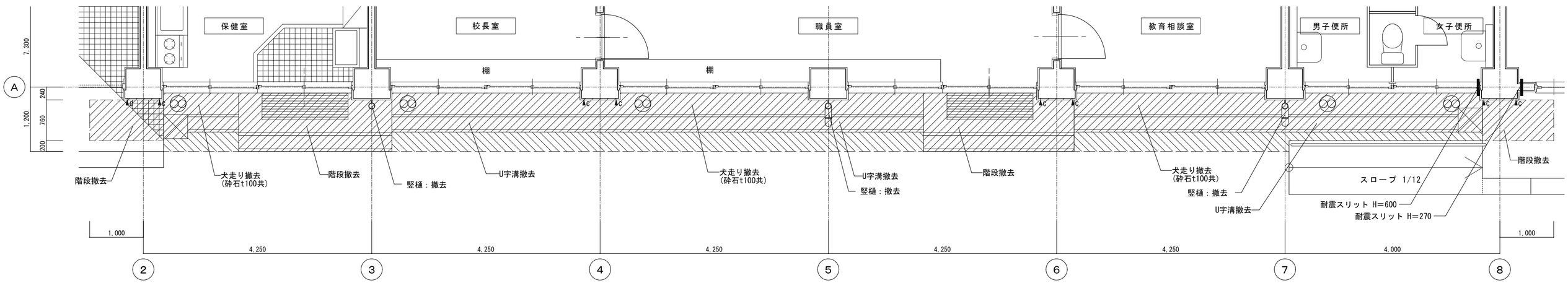
	掘削範囲を示す
	撤去範囲を示す
▲C	カッター入れ位置を示す



3階平面詳細図　1/50



2階平面詳細図　1/50



1階平面詳細図　1/50

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟　平面詳細図（改修前）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	109

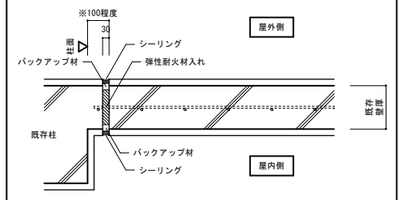
凡例（改修前）

	埋戻し範囲を示す
	復旧範囲を示す
▲S	・化粧目地シーリングを示す　15×15(PU-2)
	・取合・打継化粧目地シーリングを示す　25×20(PU-2)

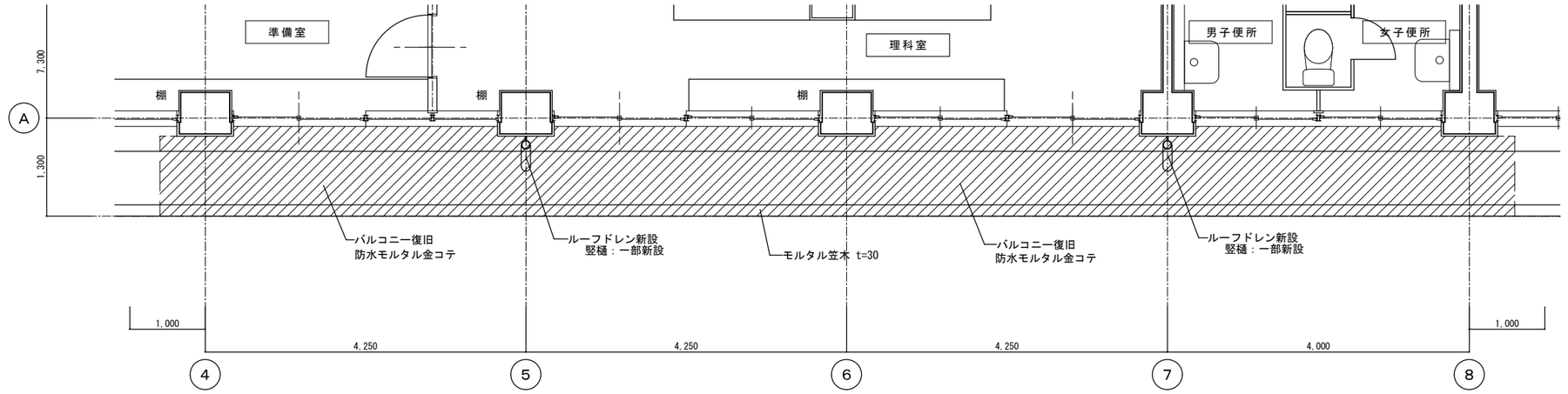
注記

・補強梁天端は適切に水勾配を取ること
・補強体吹付仕上面は下地調整の上、
　防水形複層塗材E(高弾性吹付)とする
・新設竪樋は適切な位置に切り回しとする

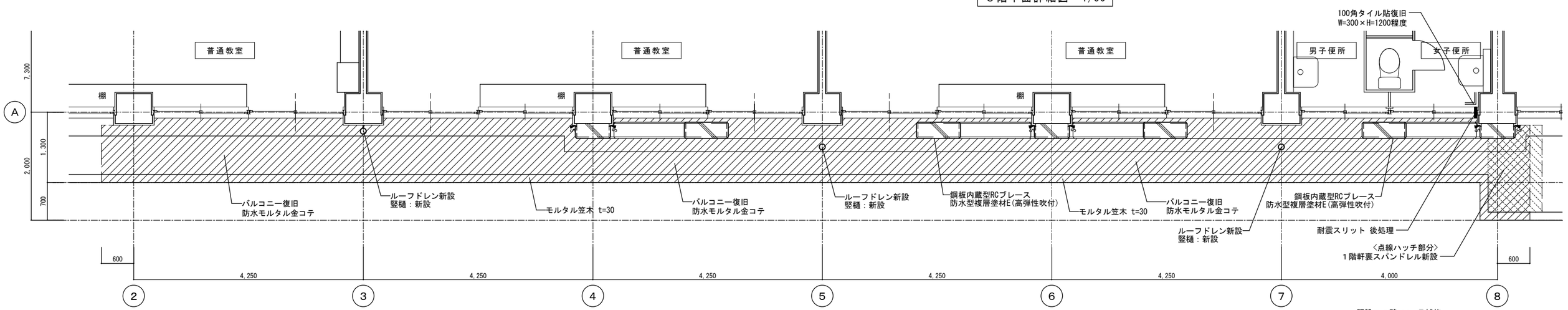
◆耐震スリット詳細図（処理方法）



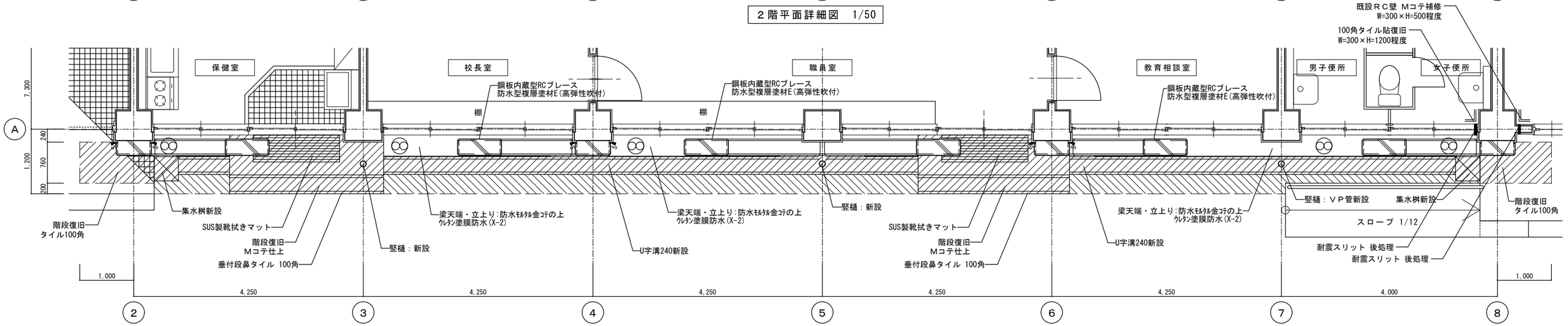
（注）1．※印は、スリットを施工する機械器具などにより必要な最小寸法とすること。
　　2．鉄筋切断の上、鉄筋露出部は防錆処理を施すこと。



3階平面詳細図　1/50



2階平面詳細図　1/50



1階平面詳細図　1/50

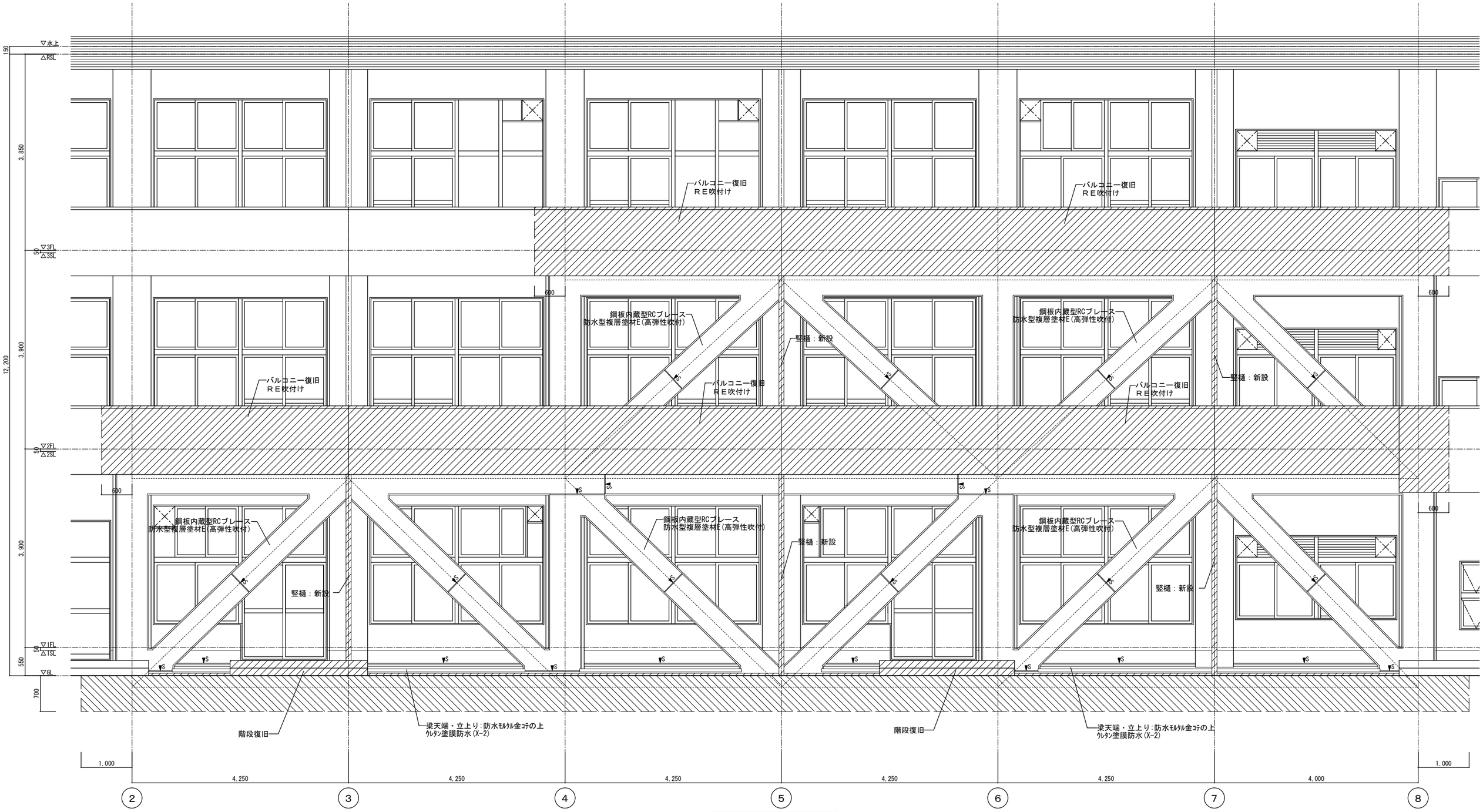
1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟　平面詳細図（改修後）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 0

立面詳細図　1/50

凡例（改修前）

- 掘削範囲を示す
- 撤去範囲を示す
- ▲C　カッター入れ位置を示す

1239	大中小学校　耐震補強改修工事	校舎棟　立面詳細図（改修前）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社　一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 1



立面詳細図　1/50

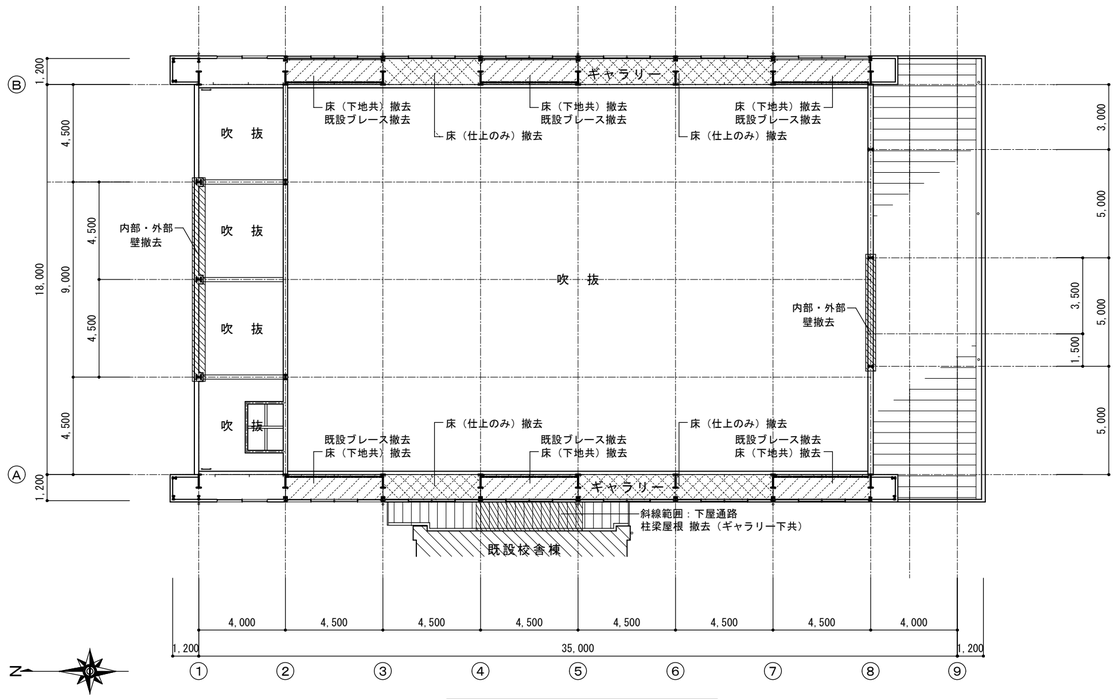
凡例（改修前）

- 埋戻し範囲を示す
- 復旧範囲を示す
- ▲S ・化粧目地シーリングを示す　15×15(PU-2)
  ・取合・打継化粧目地シーリングを示す　25×20(PU-2)

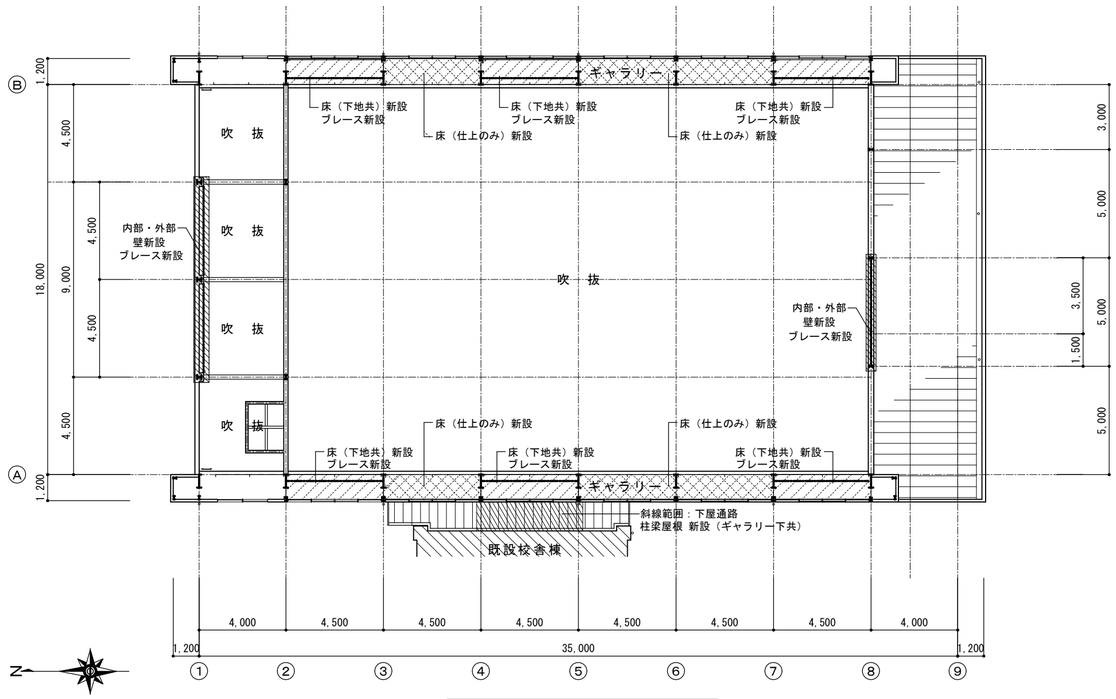
注記

- 補強梁天端は適切に水勾配を取ること
- 補強体吹付仕上面は下地調整の上、防水形複層塗材E(高弾性吹付)とする
- 新設竪樋は適切な位置に切り回しとする

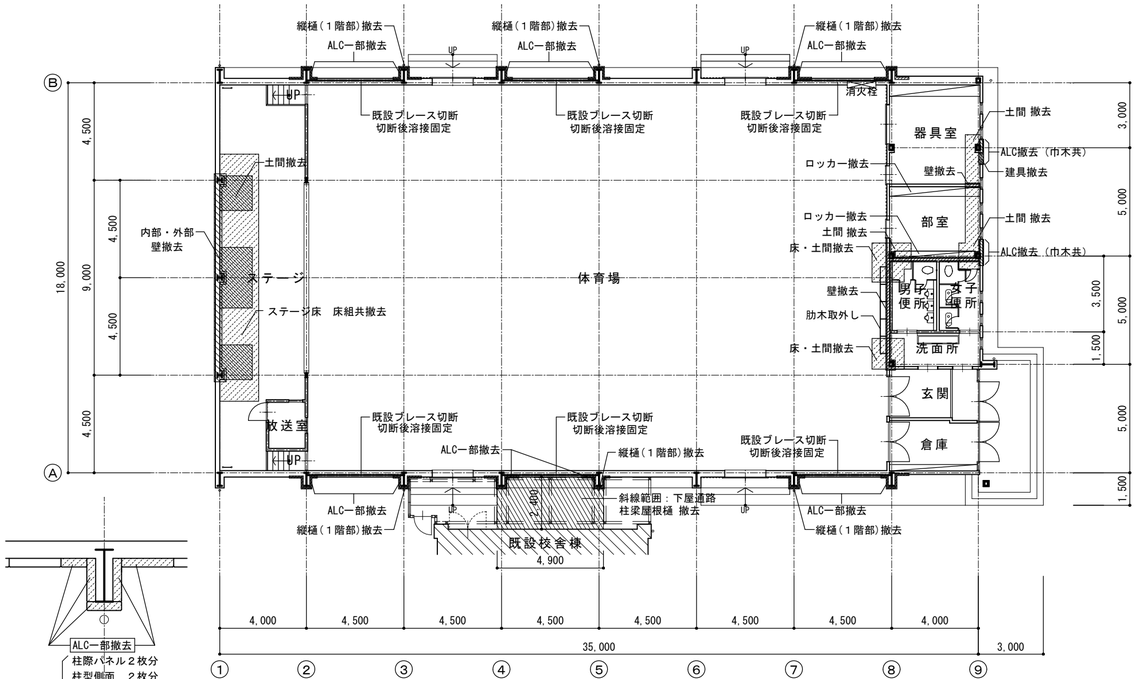
1239	大中小学校 耐震補強改修工事	校舎棟　立面詳細図（改修後）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 2

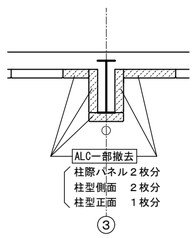


改修前　２階平面図　1/200

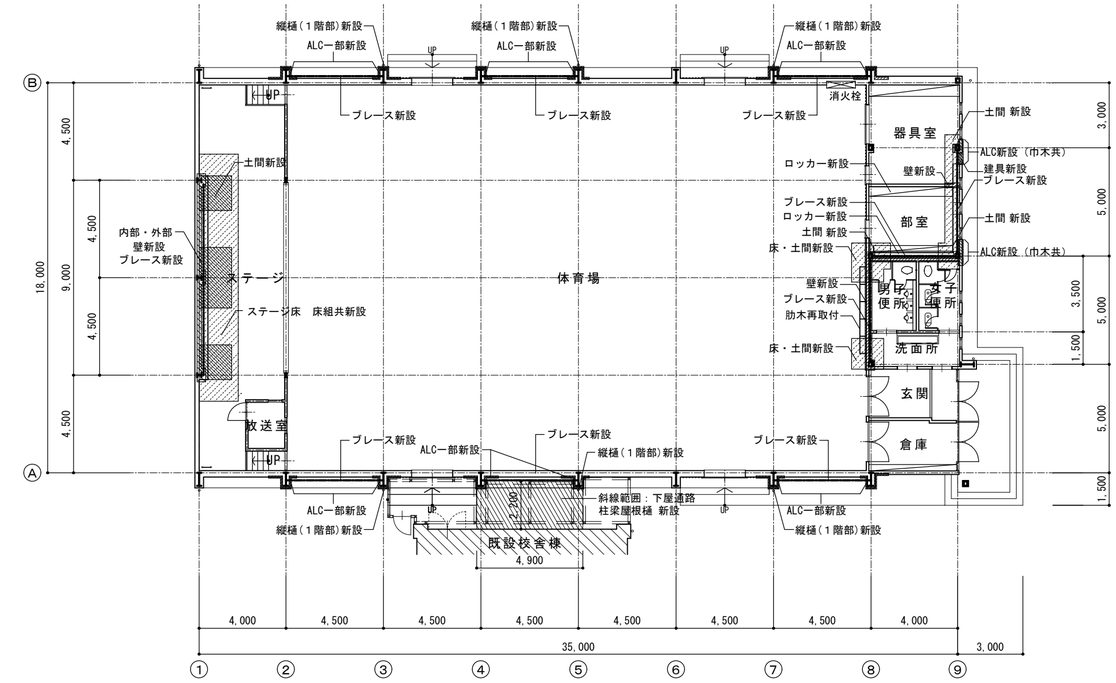


改修後　２階平面図　1/200



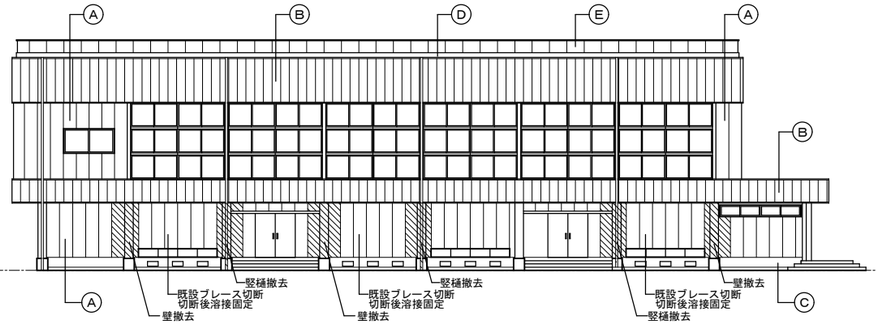


改修前　１階平面図　1/200

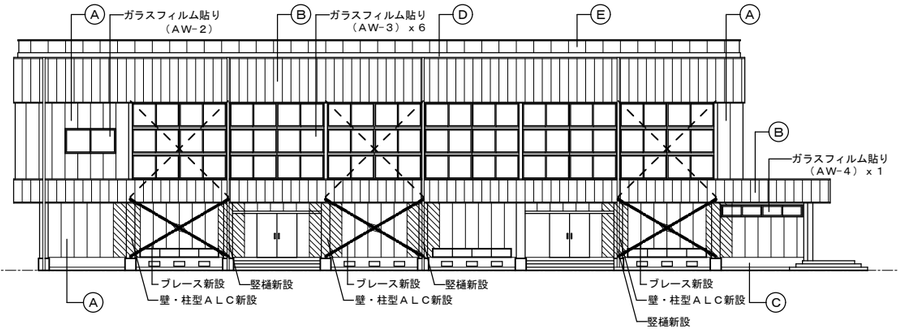


改修後　１階平面図　1/200

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	屋内運動場　平面図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 3



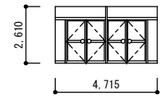
改修前　西側立面図　1/200



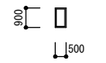
改修後　西側立面図　1/200

ガラスフィルム貼り　サッシ形状図

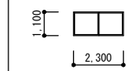
AD-1 x 1ヶ所



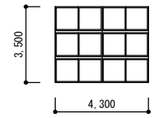
AW-1 x 9ヶ所



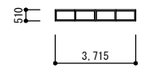
AW-2 x 2ヶ所



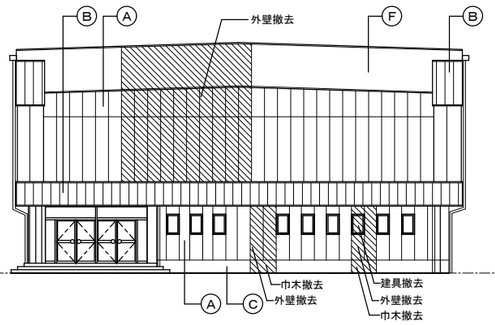
AW-3 x 12ヶ所



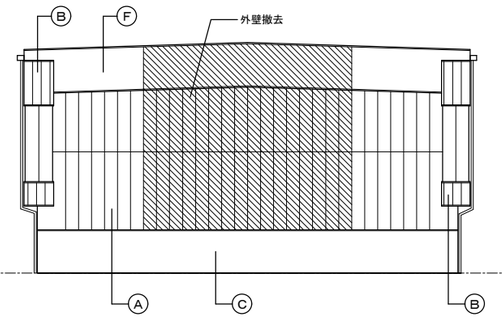
AW-4 x 1ヶ所



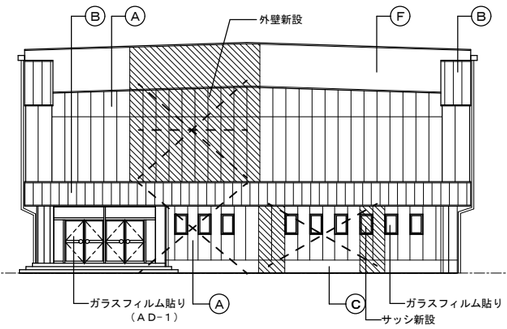
飛散防止フィルム　t=0.076
（透明飛散防止・UVカット機能）



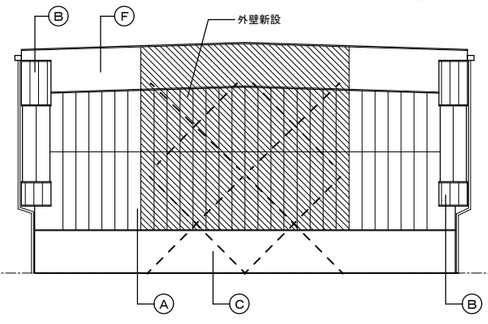
改修前　南側立面図　1/200



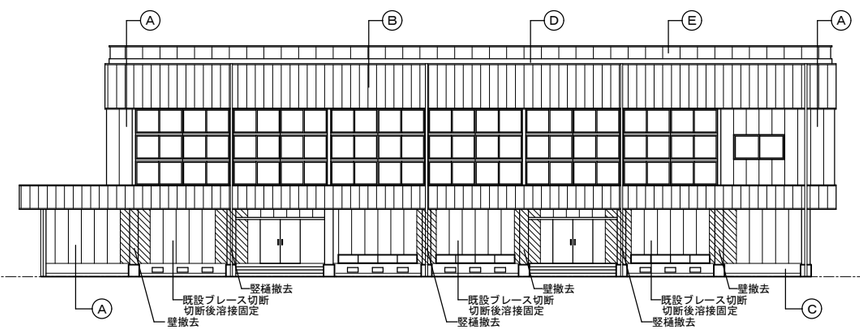
改修前　北側立面図　1/200



改修後　南側立面図　1/200

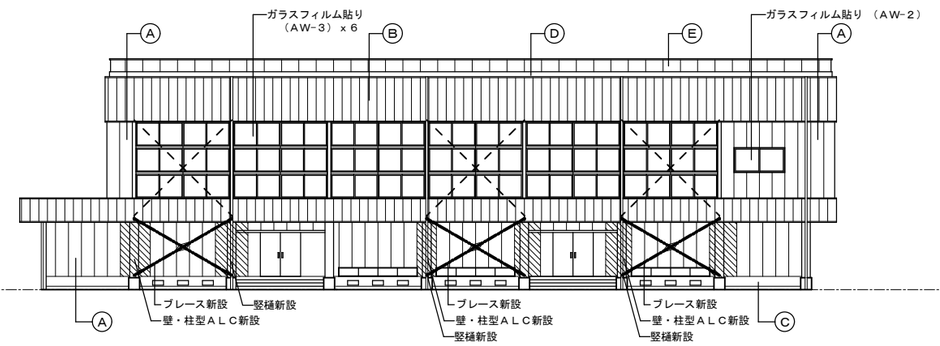


改修後　北側立面図　1/200



改修前　東側立面図　1/200

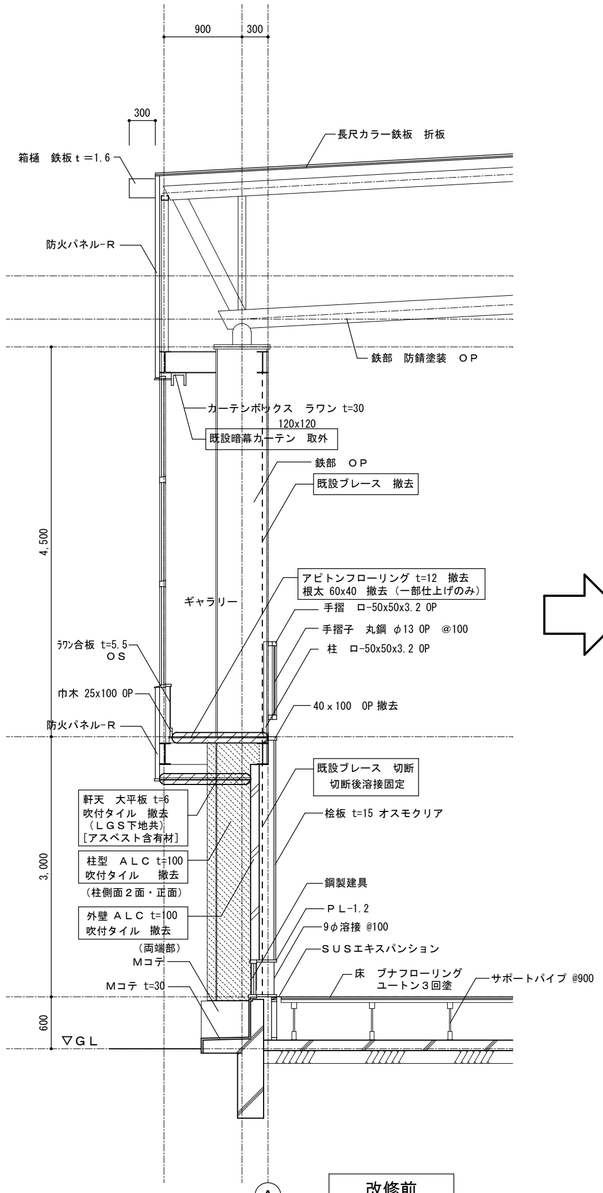
A	ＡＬＣ　t=100 吹付タイル
B	防火パネル
C	Ｍコテ
D	軒樋：鉄板 t=1.6 曲げ加工 ＯＰ
E	長尺カラー鋼板　折板
F	焼付鋼板加工　t=1.6
G	

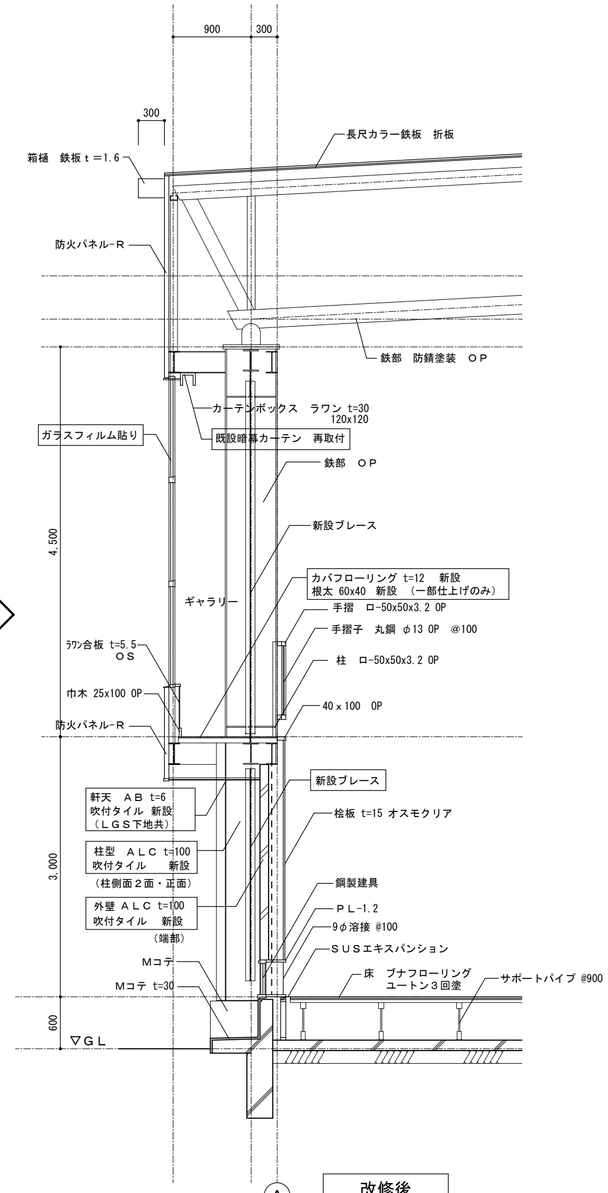


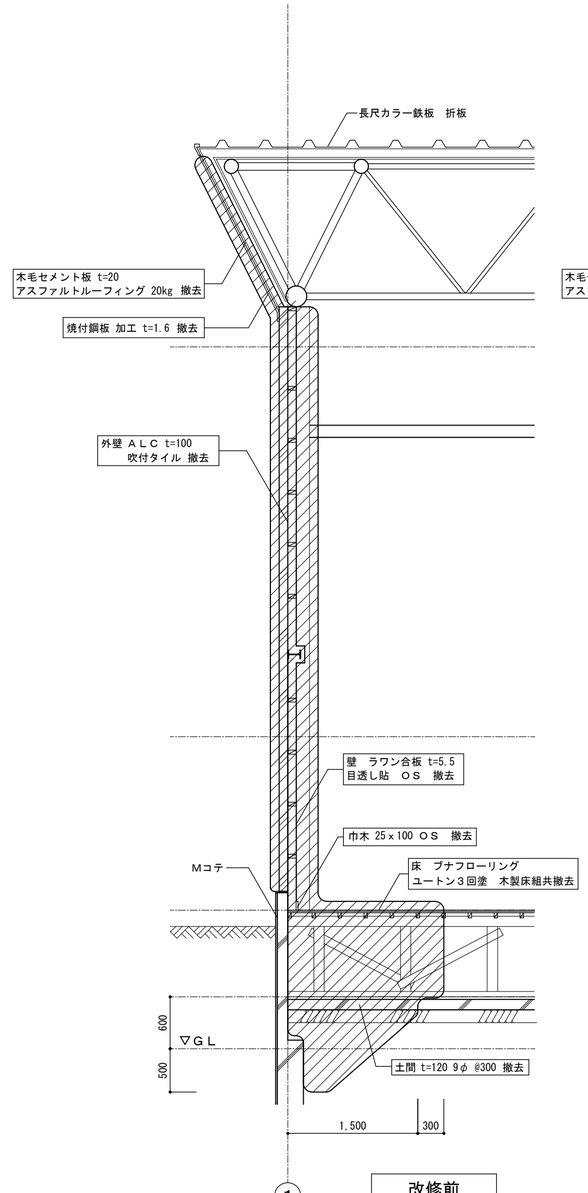
改修後　東側立面図　1/200

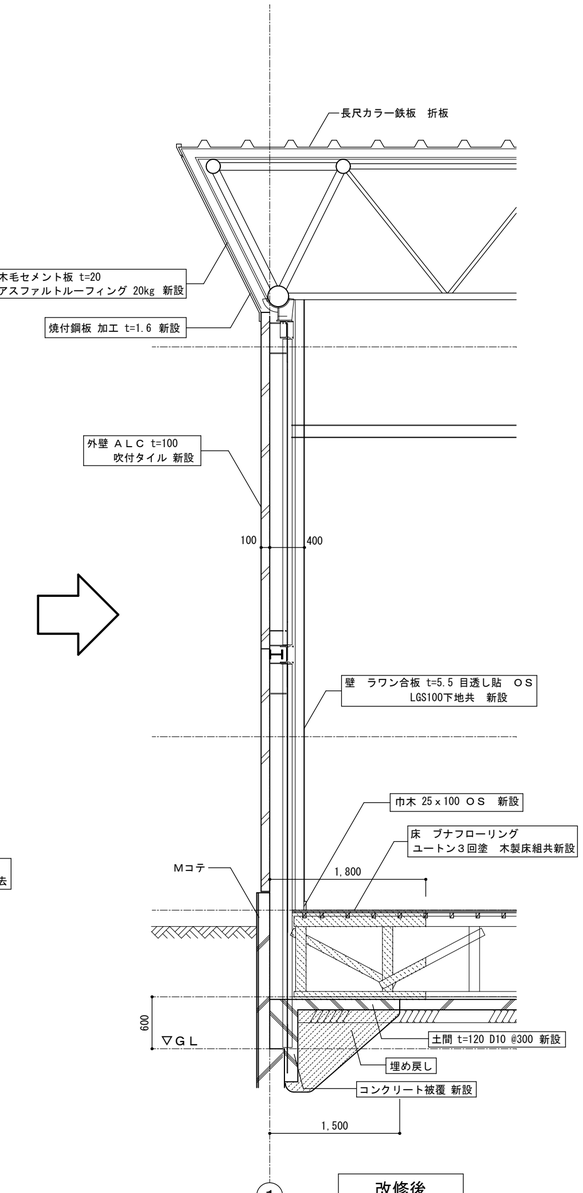
A	ＡＬＣ　t=100 吹付タイル
B	防火パネル
C	Ｍコテ
D	軒樋：鉄板 t=1.6 曲げ加工 ＯＰ
E	長尺カラー鋼板　折板
F	焼付鋼板加工　t=1.6
G	

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	屋内運動場　立面図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 4





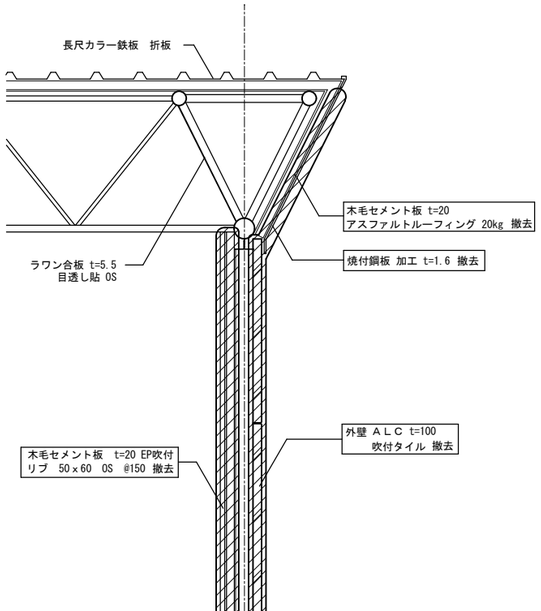


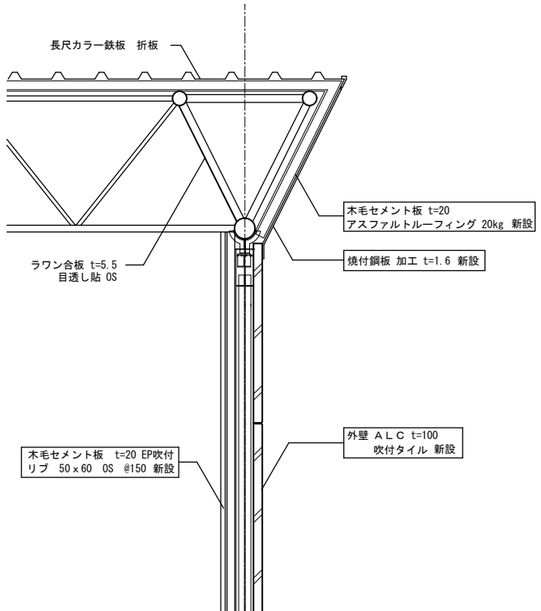


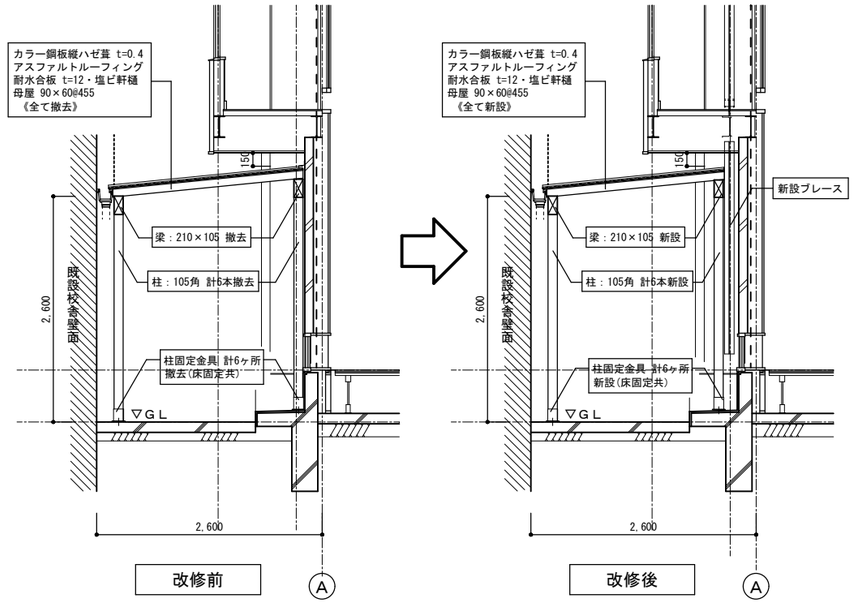
撤去範囲を示す

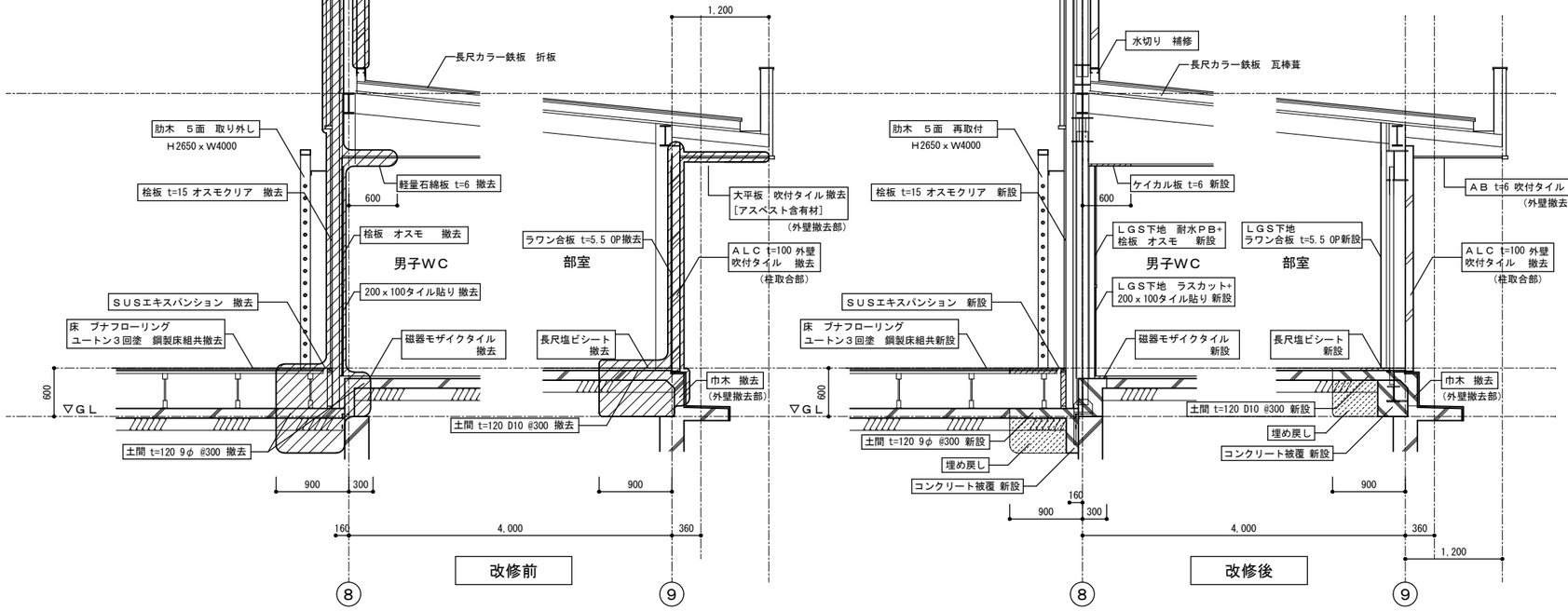
※新設ＡＬＣパネルの取付はロッキング工法とし、取付金物も新設とする。
また、新設ＡＬＣパネルの仕上がり面は、既設ＡＬＣパネルと同面とする。

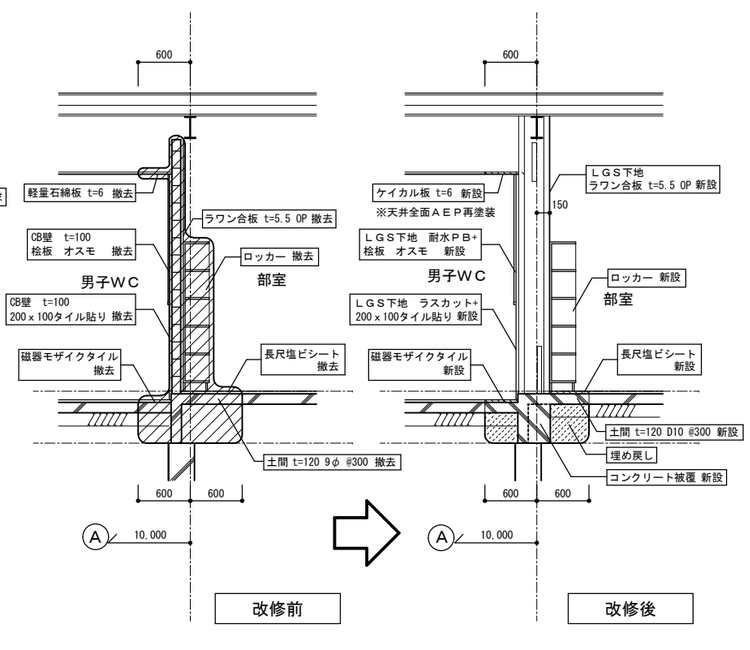
1239	大中小学校　耐震補強改修工事	屋内運動場 断面詳細図１（改修前・後）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社　一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 5







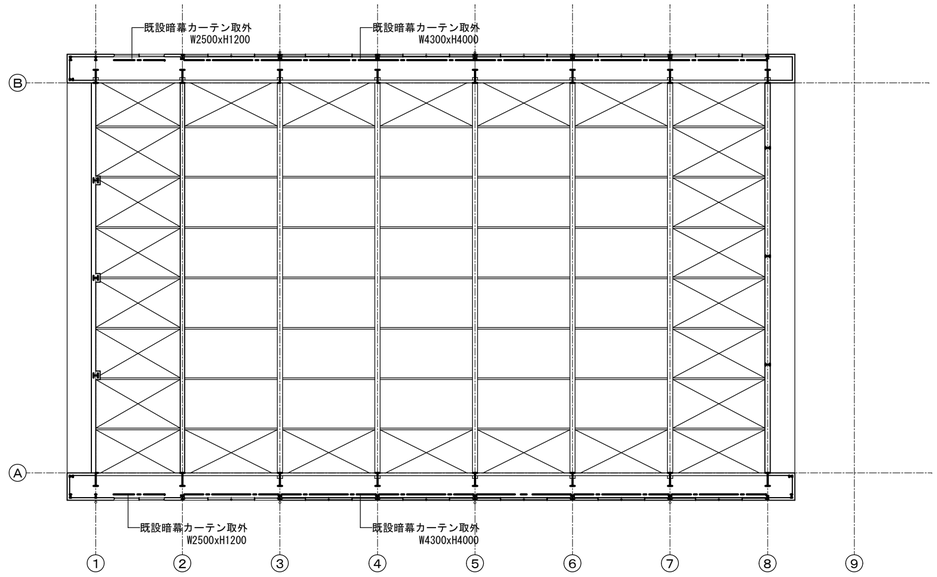




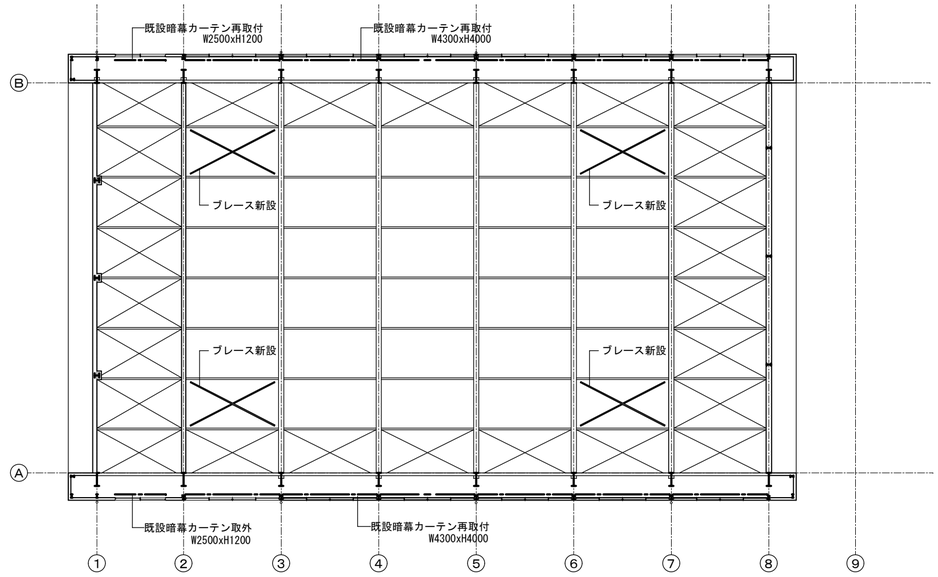
撤去範囲を示す

※新設ＡＬＣパネルの取付はロッキング工法とし、取付金物も新設とする。
また、新設ＡＬＣパネルの仕上がり面は、既設ＡＬＣパネルと同面とする。

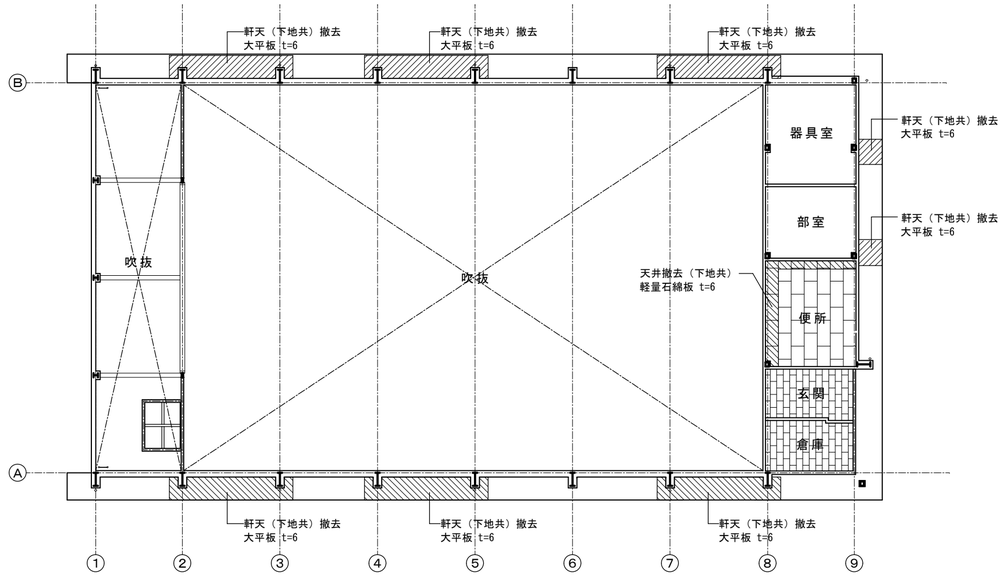
1 2 3 9	大中小学校　耐震補強改修工事	屋内運動場 断面詳細図２（改修前・後）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社　一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	1 1 6



改修前２階天井伏図　1/200

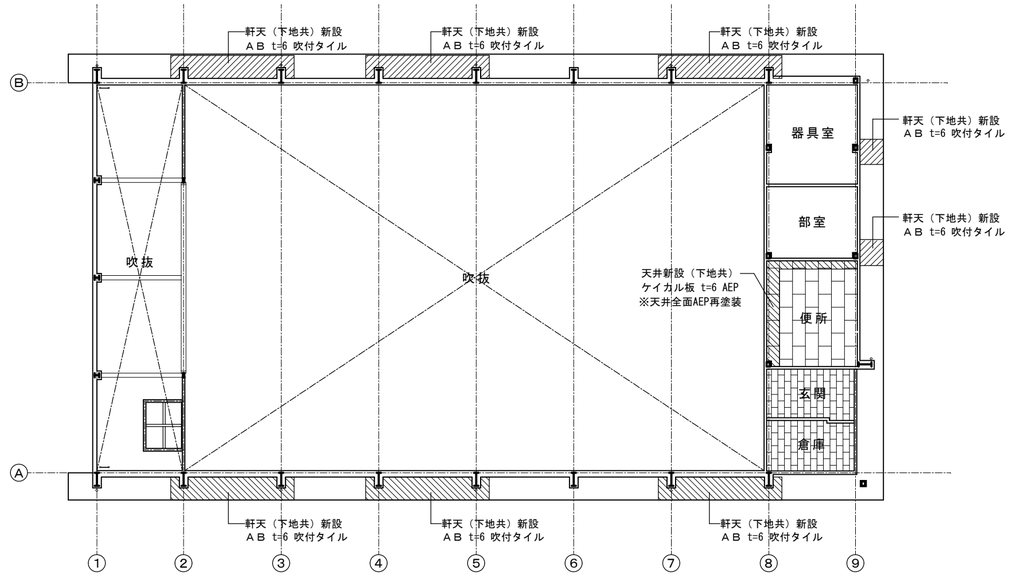


改修後２階天井伏図　1/200



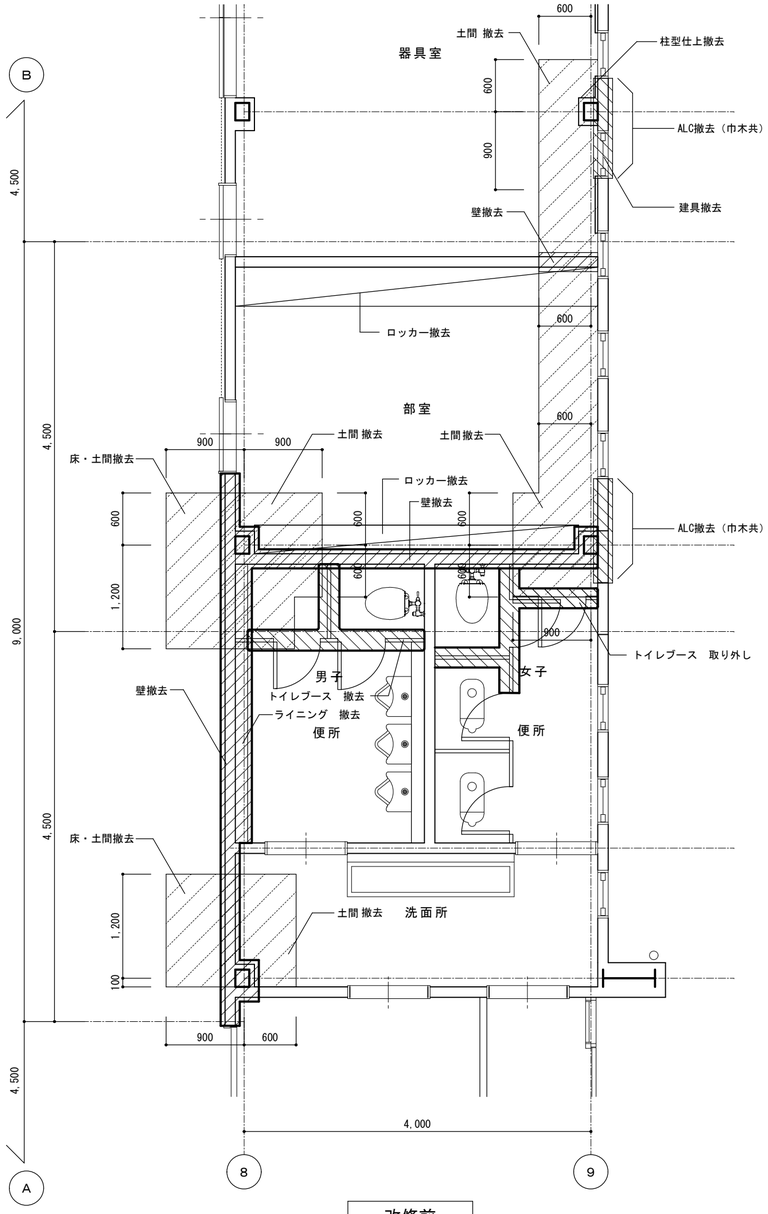
改修前１階天井伏図　1/200

※非飛散性アスベスト含有材の大平板を
撤去する場合は、水にて湿潤の上、
１枚ずつ取外しすること。

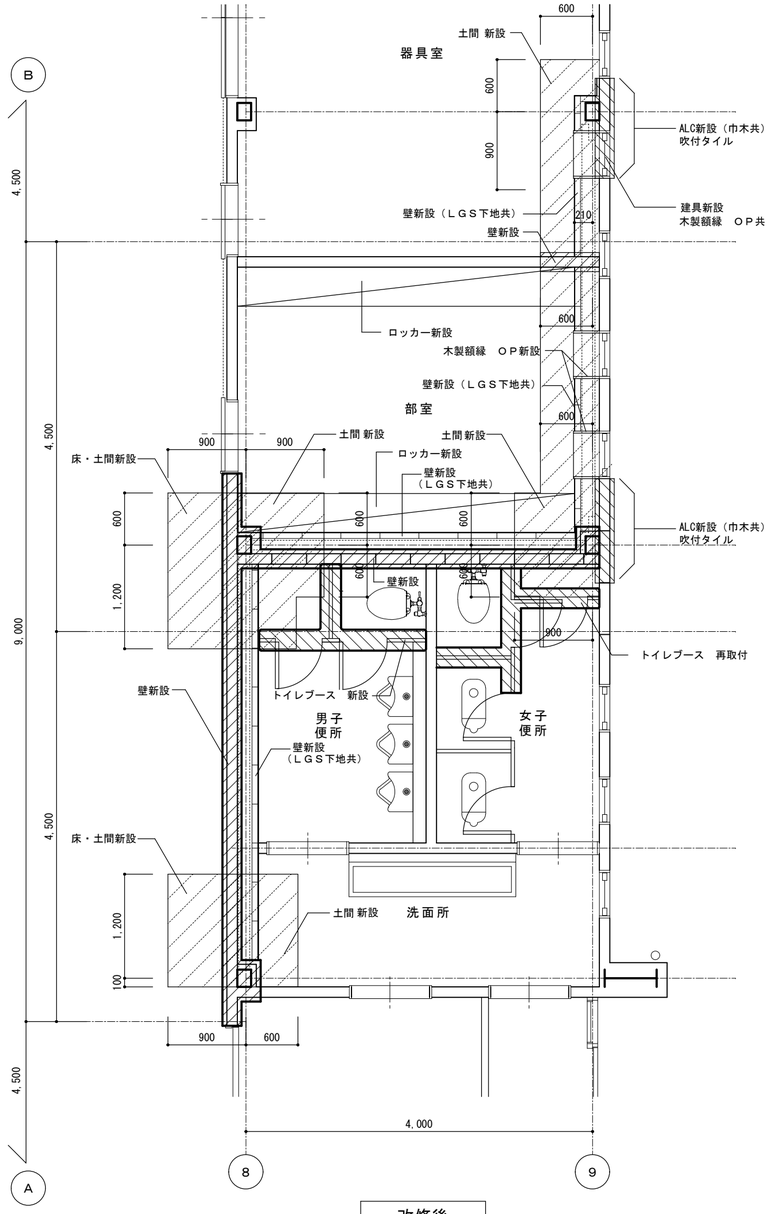


改修後１階天井伏図　1/200

1239	大中小学校　耐震補強改修工事	屋内運動場 天井伏図（改修前・後）	1/200 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社　一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	117

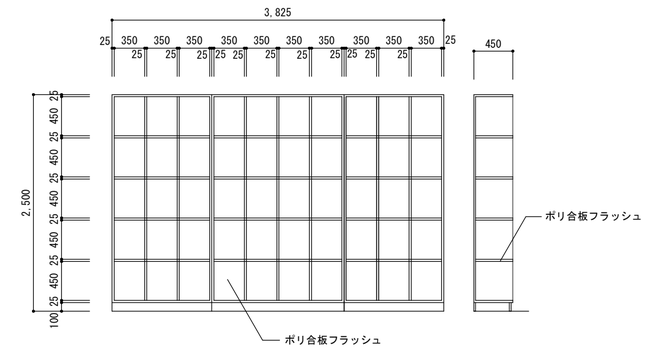


改修前

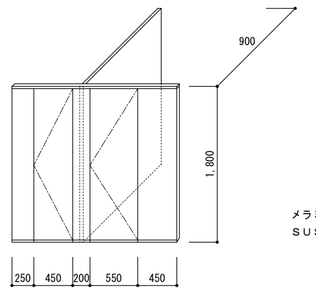


改修後

新設ロッカー（復旧）　２箇所



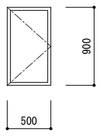
新設トイレブース（復旧）　１箇所



メラミン化粧合板フラッシュ　t=40
ＳＵＳ巾木・頭ツナギ・表示錠・付属金物一式

新設アルミサッシ（復旧）　１箇所

器具庫



型式	アルミ片開き窓
枠見込	70
仕上	電解着色
ガラス	網入り型ガラス t=6.8
金物	クレセント・水切り・付属金物一式
備考	ガラスフィルム貼り

1239	大中小学校 耐震補強改修工事	屋内運動場 便所・部室廻り 平面詳細図（改修前・後）	1/50 scale	'13.12 date	杉山 大本 design	片平 check	株式会社 一級建築士事務所 DESIGN BOX architecture & urban design	一級建築士299643 杉山丈洋	118